

栄東地区 まちづくりアンケート調査結果

1 調査の趣旨

栄東まちづくり協議会（以下、「まちづくり協議会」）は、栄4丁目及び5丁目（以下、栄東地区といいます）に関するまちづくり事業を行うため、町内会、まちづくり団体、民間団体、行政等が構成して、平成27年度に発足した。今年度は、栄東地区の地域づくりに関する取り組みを行っていくための準備とし、住民、働きに来ている人、客としてきた人を対象とし、日頃この地域についてどんなことを課題と考えているか、今後どのような街にしていきたいと考えているかなどを把握することを目的とし、アンケート調査を実施した。

2 調査の概要

（1）調査方法

まちづくり協議会の会員の協力のもと、栄東地区の住民、働きに来ている人、客としてきた人に直接配布回収（一部は郵送配布回収）により行った。また、配布の際には定型サイズの封筒に120通用意し、それぞれ封筒1通に挨拶文1枚、アンケート調査を3枚ずつ同封した。

（2）調査期間

平成28年7月20日（水）～8月8日（月）

（3）配布・回収結果

想定件数：1200通

実質配布数：808通

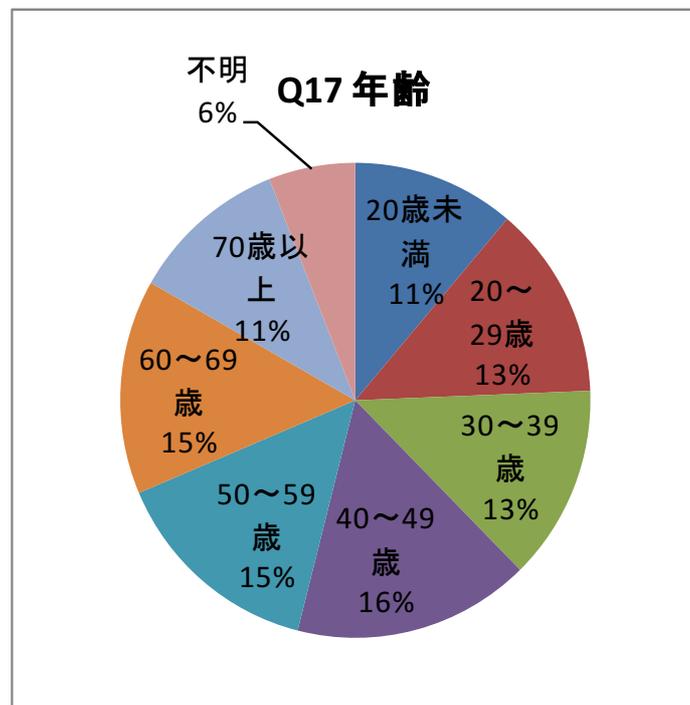
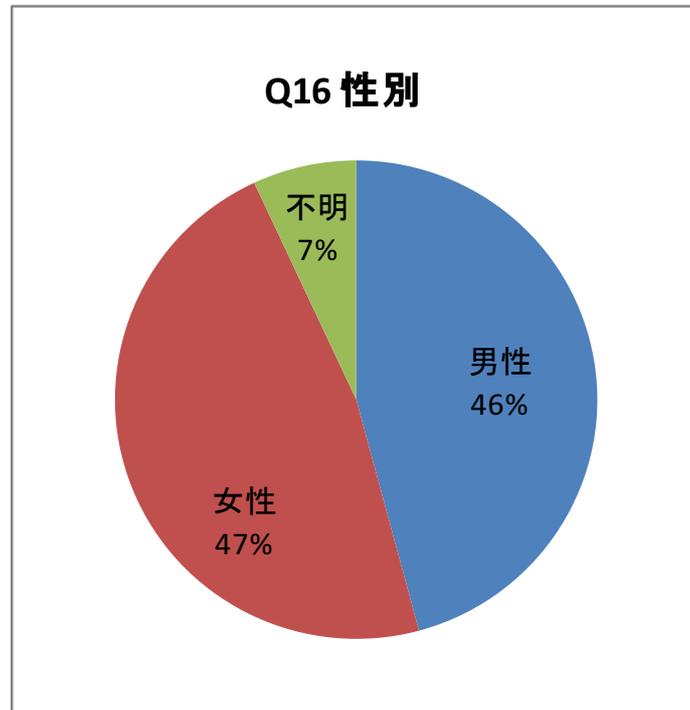
アンケート回収数：1,194件（1通あたり約1.48件）

2 調査結果

(1) 回答者の属性

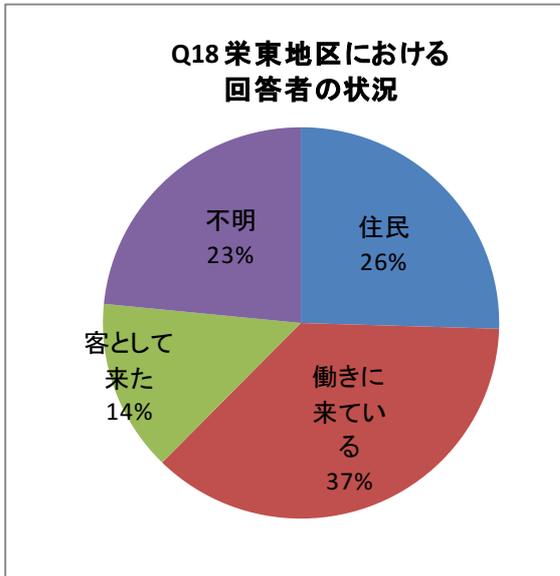
①性別と年齢

- ・回答者の性別は「女性」が47%、「男性」が46%。
- ・年齢は、「40～49歳」16%、「50～59歳」「60～69歳」15%、「20～29歳」「30～39歳」13%、「20歳未満」「70歳以上」11%と、各年代からほぼ均等に回答が得られた。

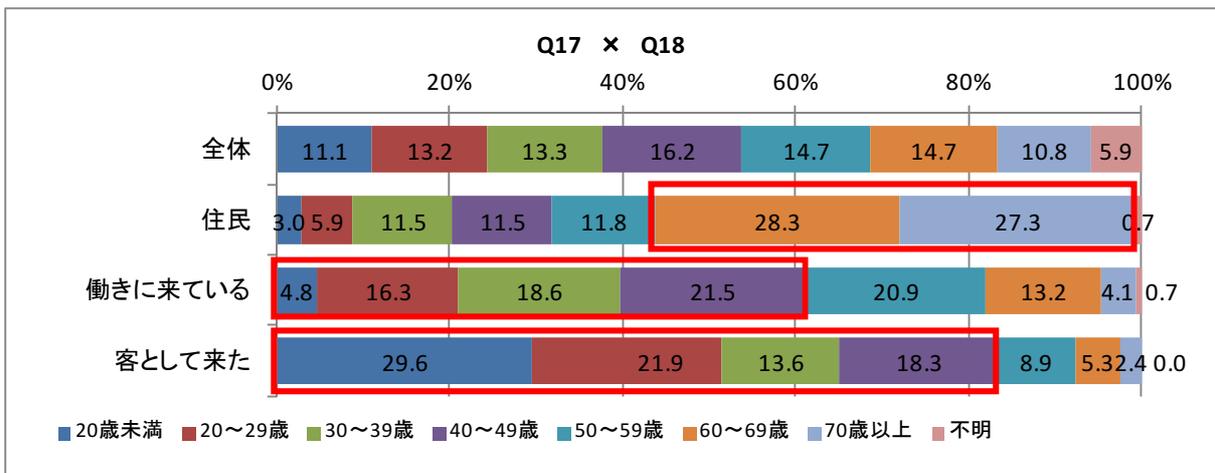


②住民・働きに来ている人・客としてきた人の構成

- ・全体では「働きに来ている」が37%と高く、「住民」26%、「客として来た」14%。「不明」が23%であった。
- ・住民・働きに来ている人・客としてきた人の年齢構成を見ると、住民は60歳以上が55.6%、働きに来ている人は49歳以下が61.0%、客としてきた人は49歳以下が83.4%となっている。

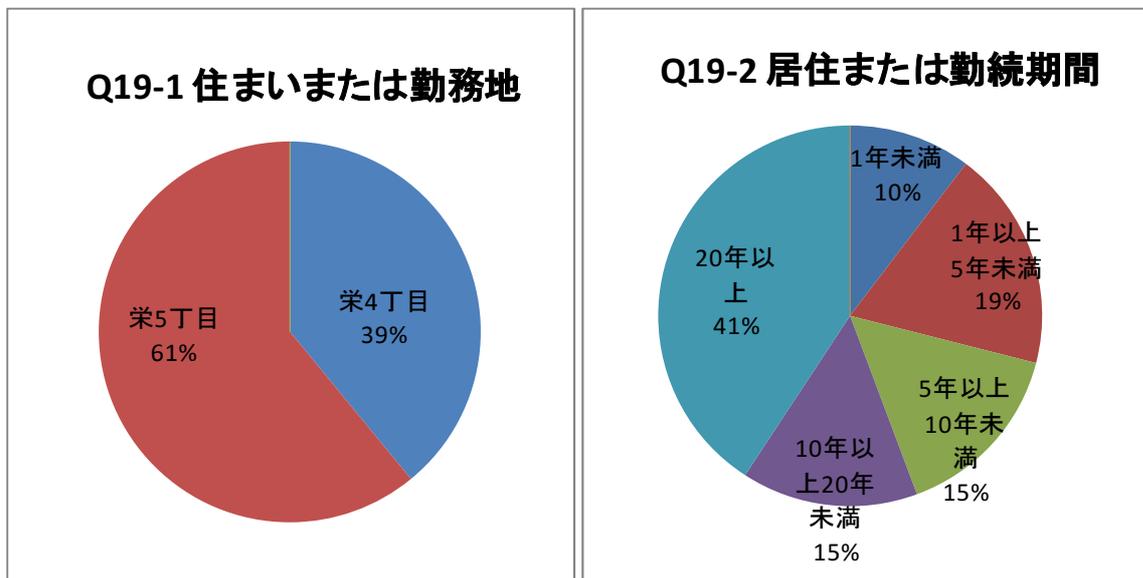


Q18 住民・働きに来ている人・客としてきた人の年齢構成

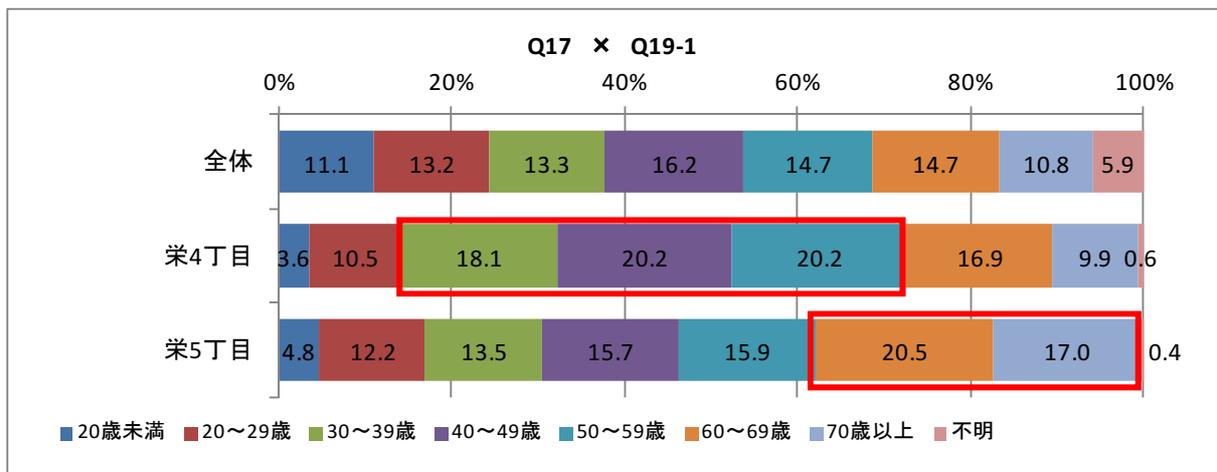


③「住民」または「働きに来ている」と回答した方の住まいまたは勤務地、居住期間・勤続機関

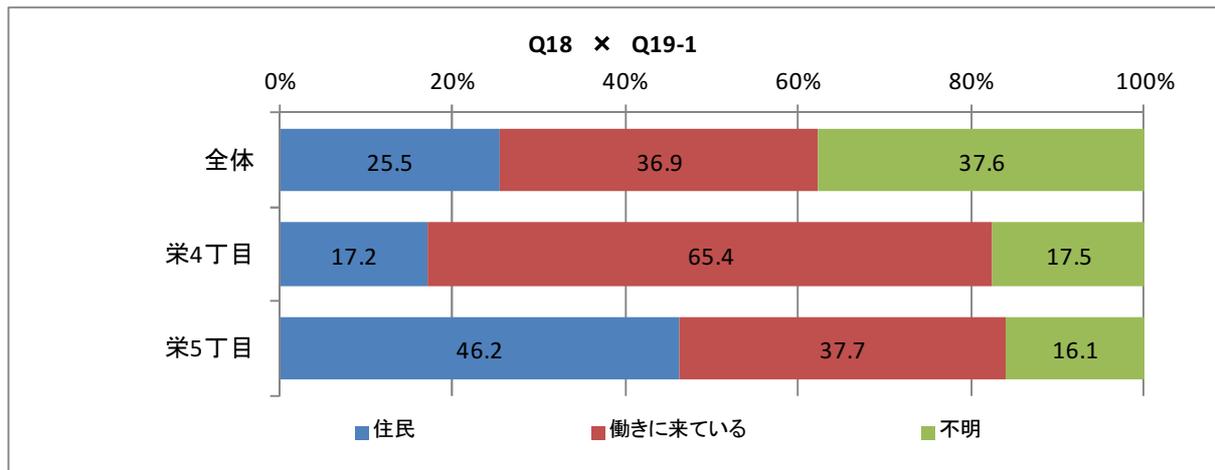
- ・住まいまたは勤務地は「栄5丁目」が61%と高い。
- ・居住または勤続期間は、「20年以上」が41%と高く、「1年以上5年未満」19%、「5年以上10年未満」「10年以上20年未満」15%、「1年未満」10%。
- ・住民または働きに来ている人の地区別年齢構成は、栄4丁目は30～59歳の年齢層が6割近くを占めるのに対し、栄5丁目は60歳以上が4割近くを占める。
- ・地区別の住民、働きに来ている人の構成比をみると、栄4丁目は働きに来ている人が6割以上と多いのに対し、栄5丁目は住民が5割近くと多い。
- ・地区別の居住または勤続期間をみると、栄4丁目は10年未満が半数を占めるのに対し、栄5丁目は20年以上が半数を占める。
- ・回答者の構成について、栄4丁目は働きに来ている人が多くを占め、栄5丁目は住民が多くを占めたことが、それぞれの年齢層や居住・勤続期間の回答にも影響していると考えられる。



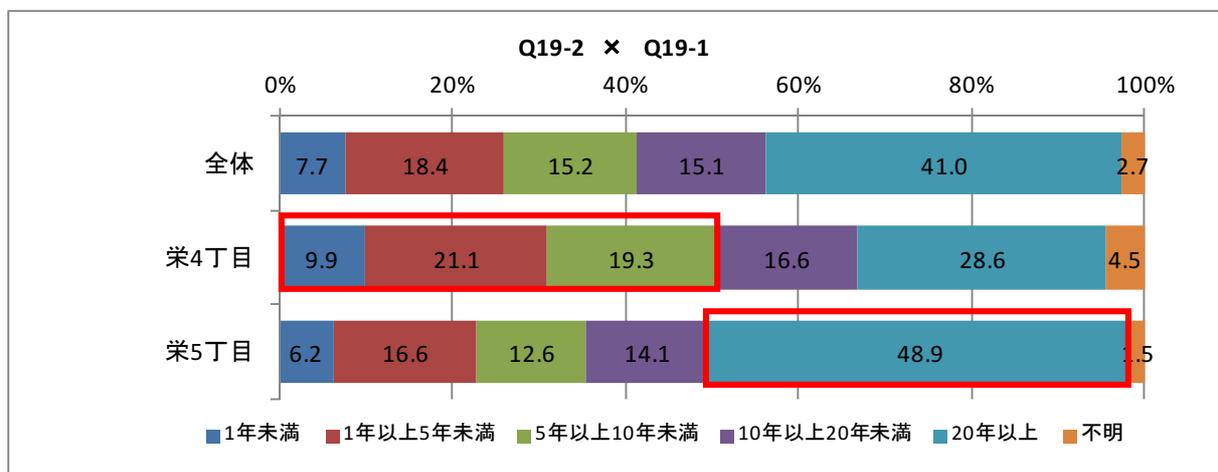
Q18 住民または働きに来ている人の地区別年齢構成



Q18 地区別の住民と働きに来ている人の構成比

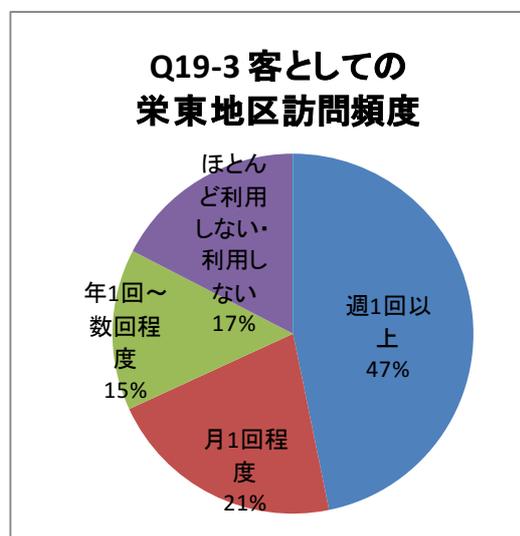


Q19-2 地区別の居住または勤続期間



④ 「客として来た」と回答した方の栄東地区への訪問頻度

・「週1回以上」が47%と多く、「月1回程度」21%、「ほとんど利用しない・利用しない」17%「年1回～数回程度」15%。お客については、常連で比較的この地域のことを知っている人々から多く回答を得られたと考えられる。



(2) 栄東地区のまちづくり全般について

①「住民」「働いている方」「来訪された方」それぞれの立場での栄東地区に対する考え

- ・住民は、「どちらかといえば住みやすい」が44%と最も高く、次いで「住みやすい」が23%。「住みやすい・どちらかといえば住みやすい」が67%と高い。
- ・働いている方は、「どちらかといえば働きやすい」42%、「働きやすい」30%。合わせると72%といずれも住民の住みやすさと比べて比率が高い。
- ・来訪された方は、「どちらかといえばいい街だと思う」42%、「いい街だと思う」22%と住民の住みやすさと同程度である。
- ・住民、働いている方、来訪された方ともに、このまちについて住みやすい、働きやすい、いい街だと思うという回答が多くを占める。

②栄東地区の好きな点、問題と思う点

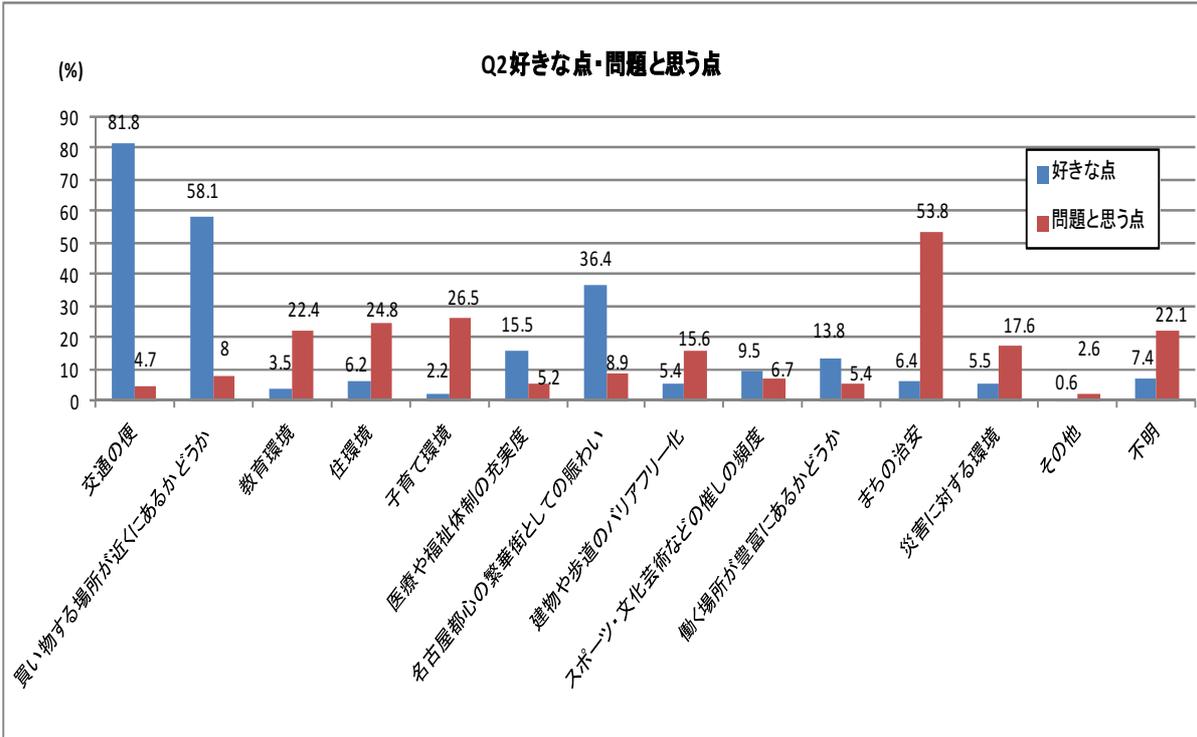
<好きな点>

- ・全体では、「交通の便」が81.8%と特に高く、次いで「買い物する場所が近くにあるかどうか」58.1%、「名古屋都心の繁華街としての賑わい」36.4%の順に高い。
- ・住民・働きに来ている人・客としてきた人で比較すると、いずれも「交通の便」「買い物する場所が近くにあるかどうか」が多く、加えて「名古屋都心の繁華街としての賑わい」は住民よりも働きにきている人や客としてきた人の方がより比率が高い。
- ・地区別（住民・働きに来ている人）では、栄4丁目の方が「名古屋都心の繁華街としての賑わい」の比率がより高い。

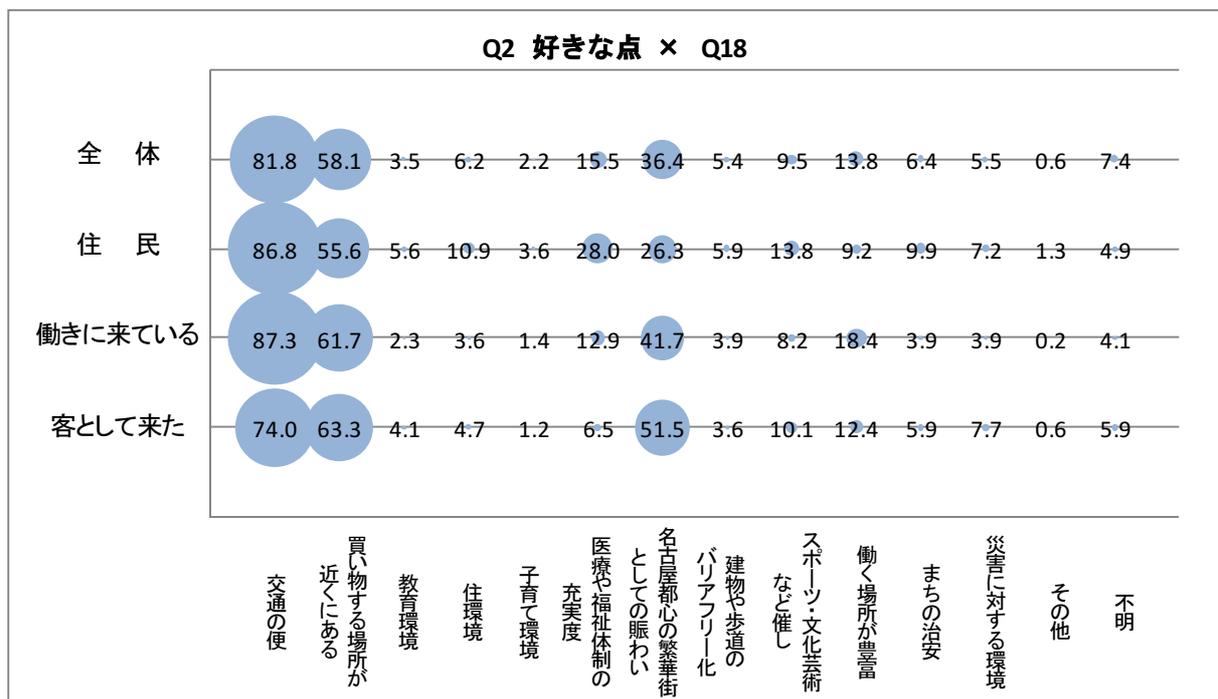
<問題と思う点>

- ・全体では、「まちの治安」53.8%、「子育て環境」26.5%、「住環境」24.8%、「教育環境」22.4%の順に高い。
- ・住民・働きに来ている人・としてきた人で比較すると、「まちの治安」について働きに来ている人の比率が高い。
- ・地区別（住民・働きに来ている人）では、「子育て環境」「住環境」について栄4丁目の方が比率が高い。

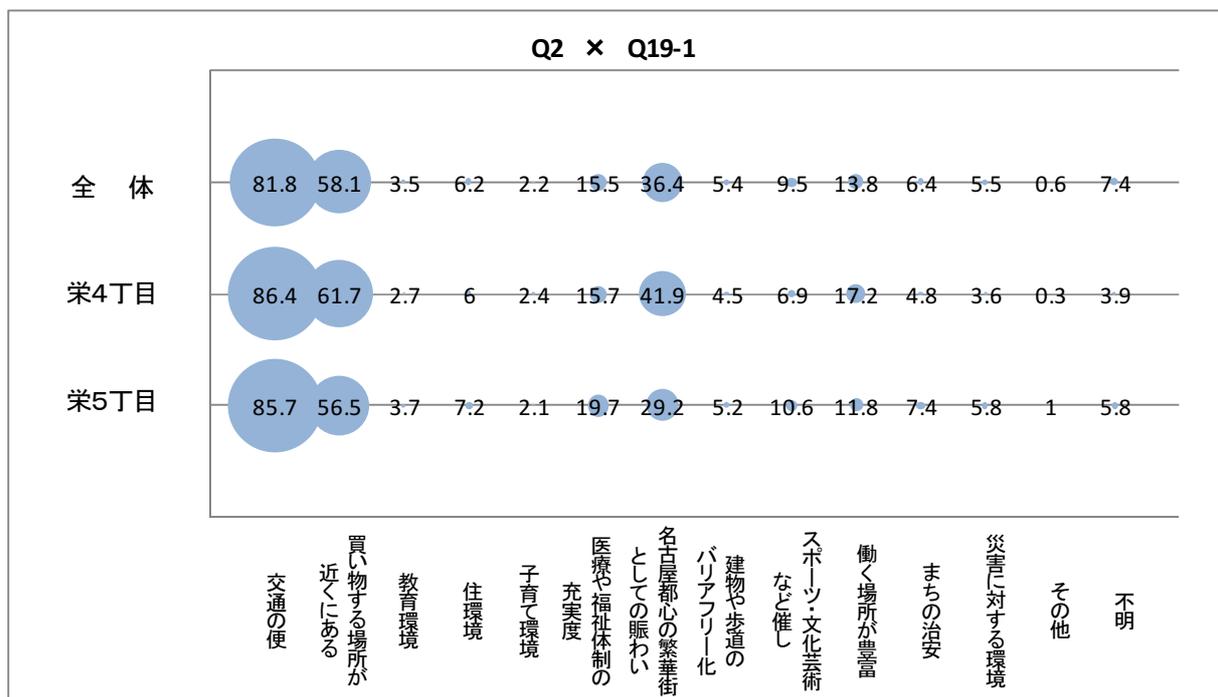
好きな点としては交通や買い物場所への近接性など利便性、あるいはまちの賑わいに対する回答が多い一方で、問題点としてはまちの治安、子育て・教育、住環境に対する回答が多い。



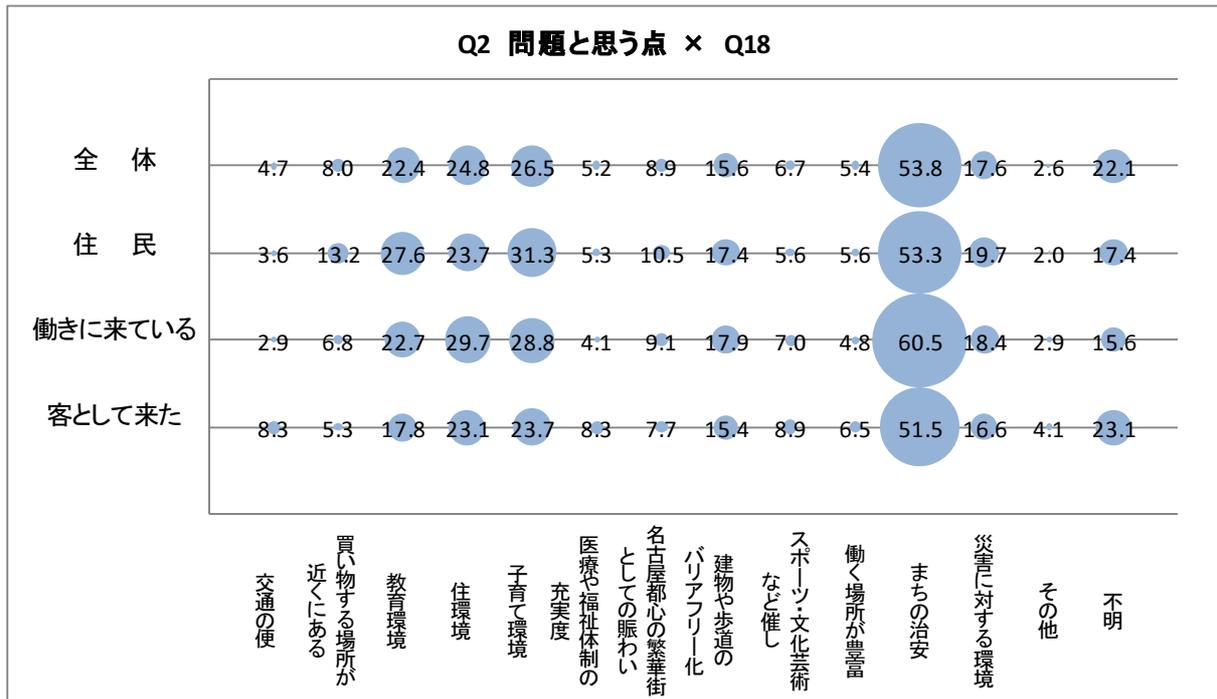
Q2 好きな点（住民・働きに来ている人・客としてきた人の比較）



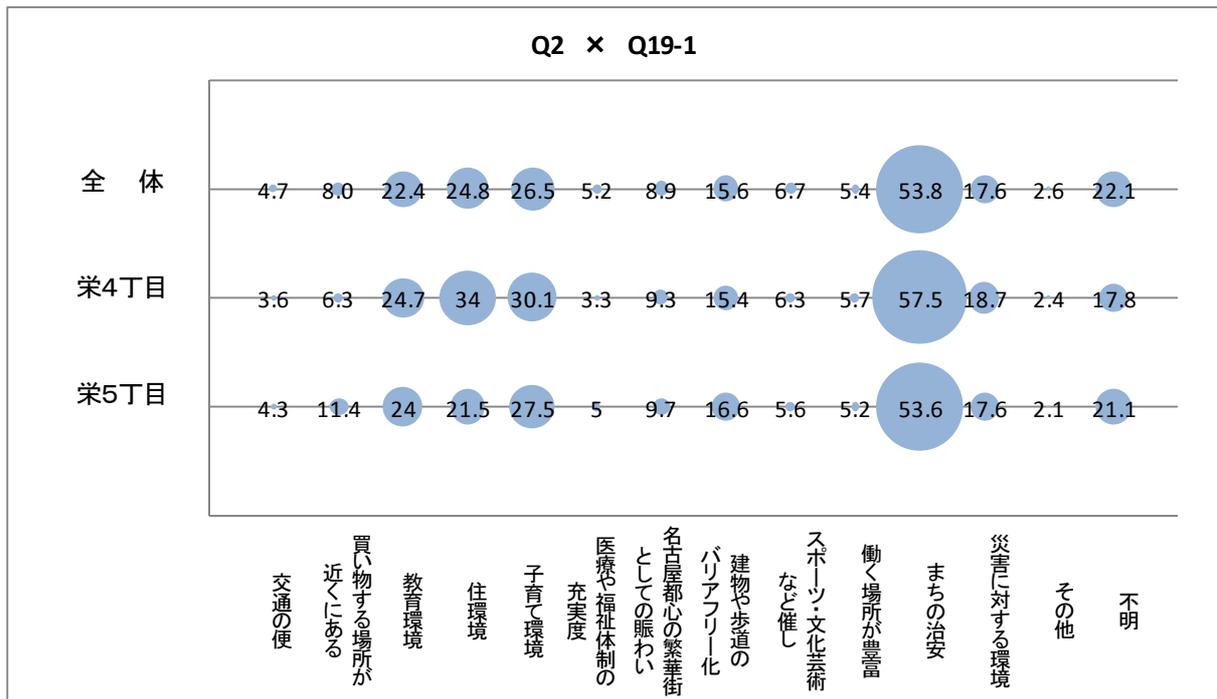
Q2 好きな点（住民または働きに来ている人で栄4丁目と5丁目の比較）



Q2 問題と思う点（住民・働きに来ている人・客としてきた人の比較）

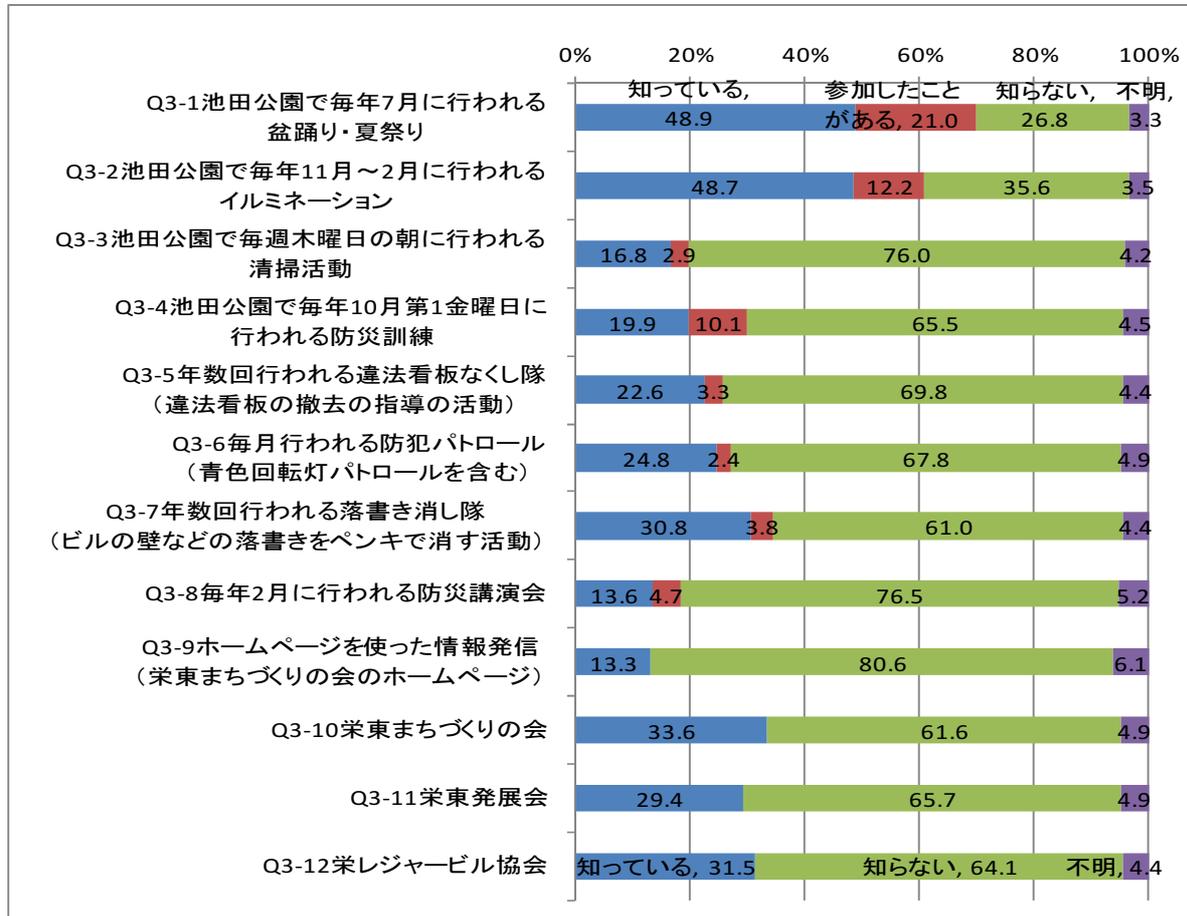


Q2 問題と思う点（住民または働きに来ている人で栄4丁目と5丁目の比較）

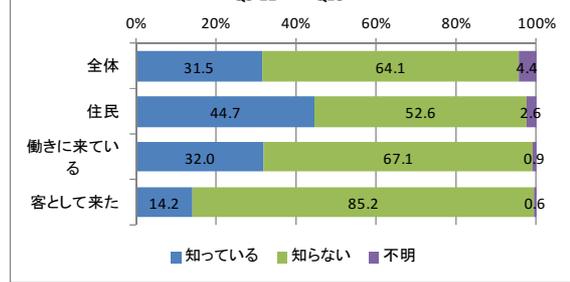
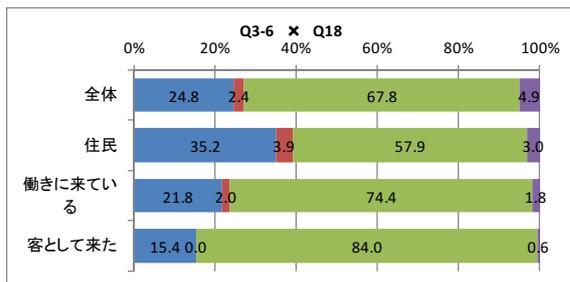
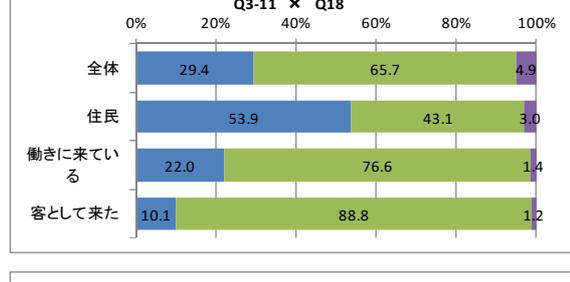
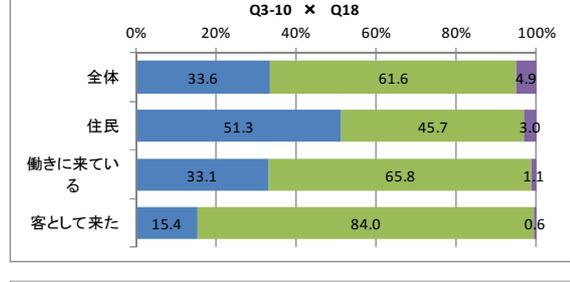
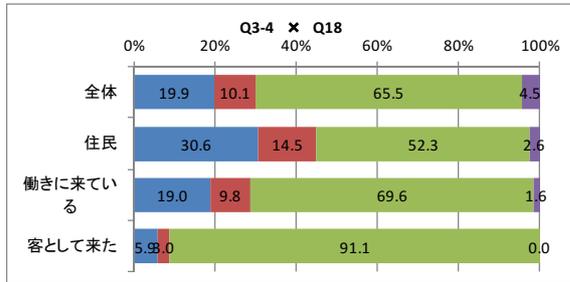
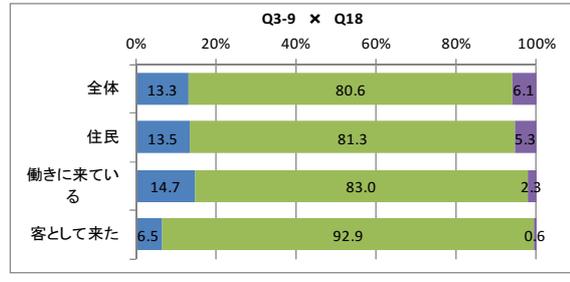
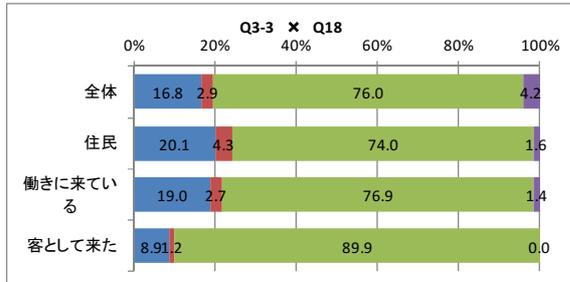
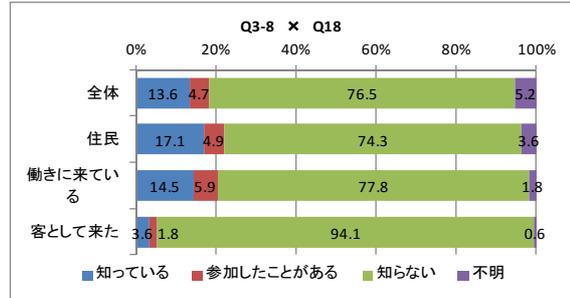
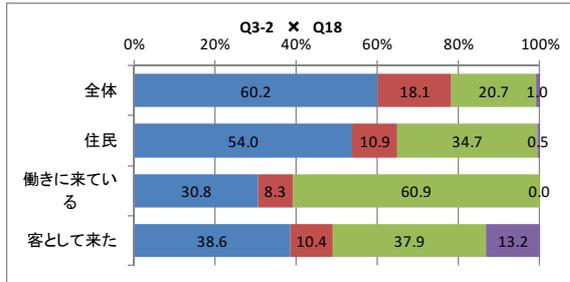
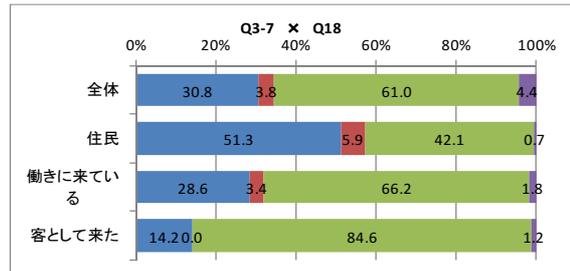
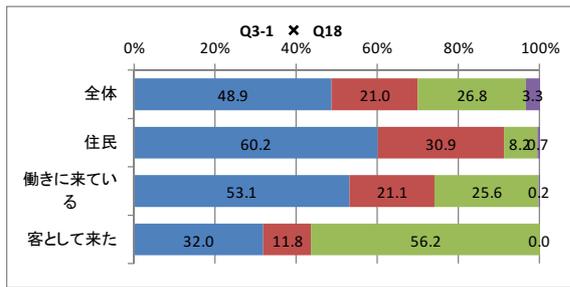


③栄東地区における事業や団体の認知度

- 池田公園で行われる事業について、夏のイベント「盆踊り・夏祭り」と秋から冬に行われるイベント「イルミネーション」は、それぞれ「知っている・参加したことがある」が69.9%、60.9%と3割以上を占めるのに対し、参加経験がある人は21.0%、12.2%と低い。また、毎週木曜朝の清掃活動、毎年10月第1金曜日に行われる防災訓練となると「知っている・参加したことがある」の比率がそれぞれ19.7%、30.0%となっており、2つのイベントと比べて低くなる。
- 栄東地区全体で行われる活動について、「年数回行われる落書き消し隊」は「知っている・参加したことがある」34.6%、「毎月行われる防犯パトロール」は「知っている・参加したことがある」27.2%、「年数回行われる違法看板なくし隊」は25.9%、「毎年2月に行われる防災講演会」は「知っている・参加したことがある」が18.3%と低い。
- 栄東地区の団体については、「栄東まちづくりの会」は「知っている」33.6%、「栄東発展会」は「知っている」29.4%、「栄レジャービル協会」は「知っている」31.5%といずれも3割程度の認知度である。また、栄東地区まちづくりの会のホームページの認知度は13.3%とさらに低い。
- 住民・働きに来ている人・客としてきた人で比較すると、多くの項目で住民、次いで働いている人の認知度が高くなる傾向にある中、「池田公園の清掃活動」「違法看板なくし隊」「防災講演会」「ホームページ」については住民、働いている人とも認知度が低い。
- 地区別（住民・働きに来ている人）では、住民・働きに来ている人・客としてきた人の比較と比べると各項目の認知度の差は少ない。栄4丁目については「池田公園での防災訓練」「防災講演会」「栄レジャービル協会」の認知度が高いのに対し、栄5丁目については「栄東発展会」の認知度が高い。

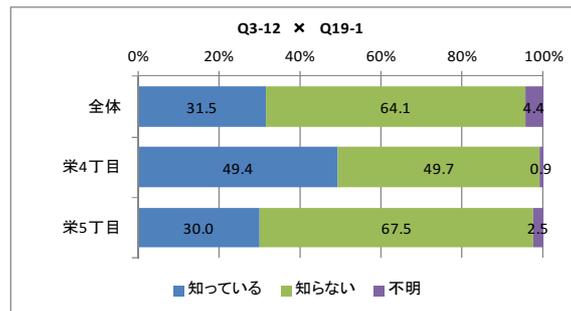
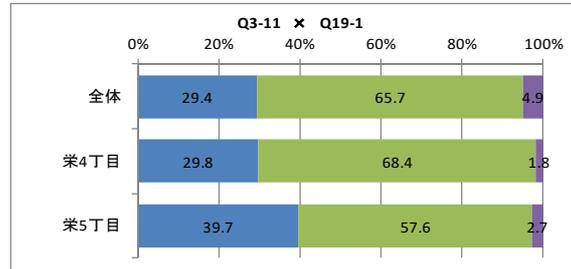
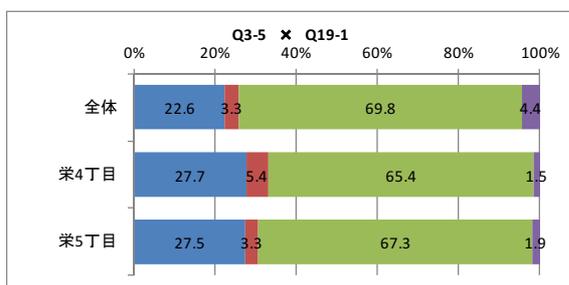
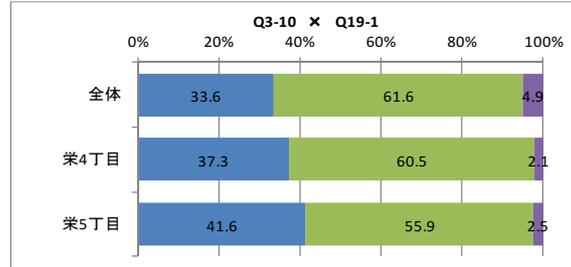
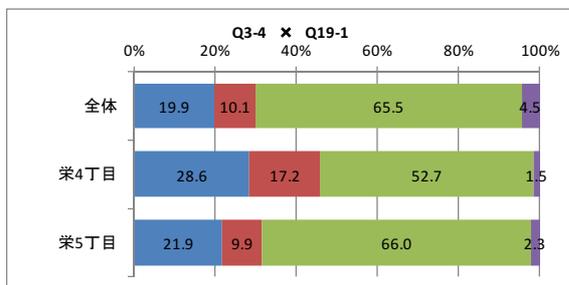
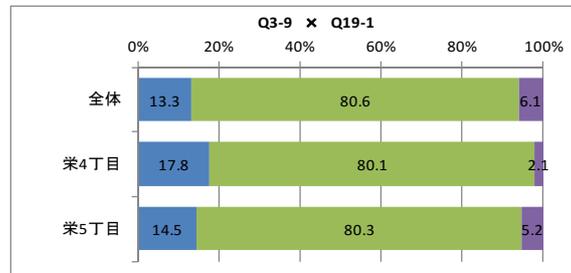
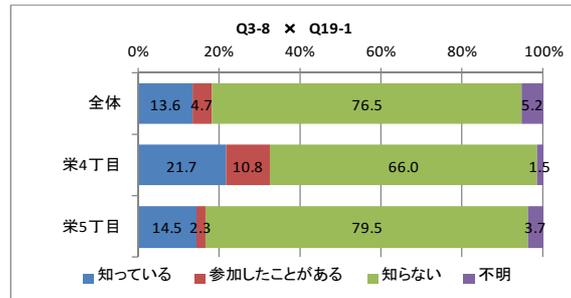
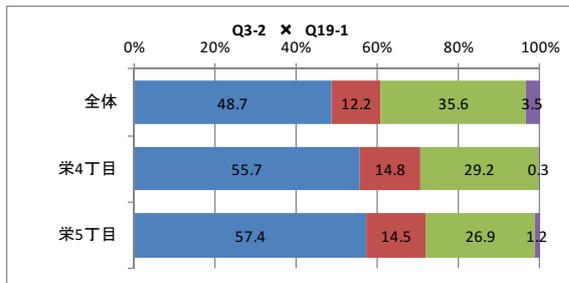
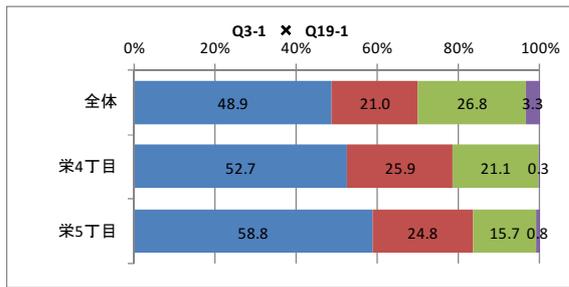


Q3 栄東地区の事業や団体の認知度（住民・働きに来ている人・客としてきた人の比較）



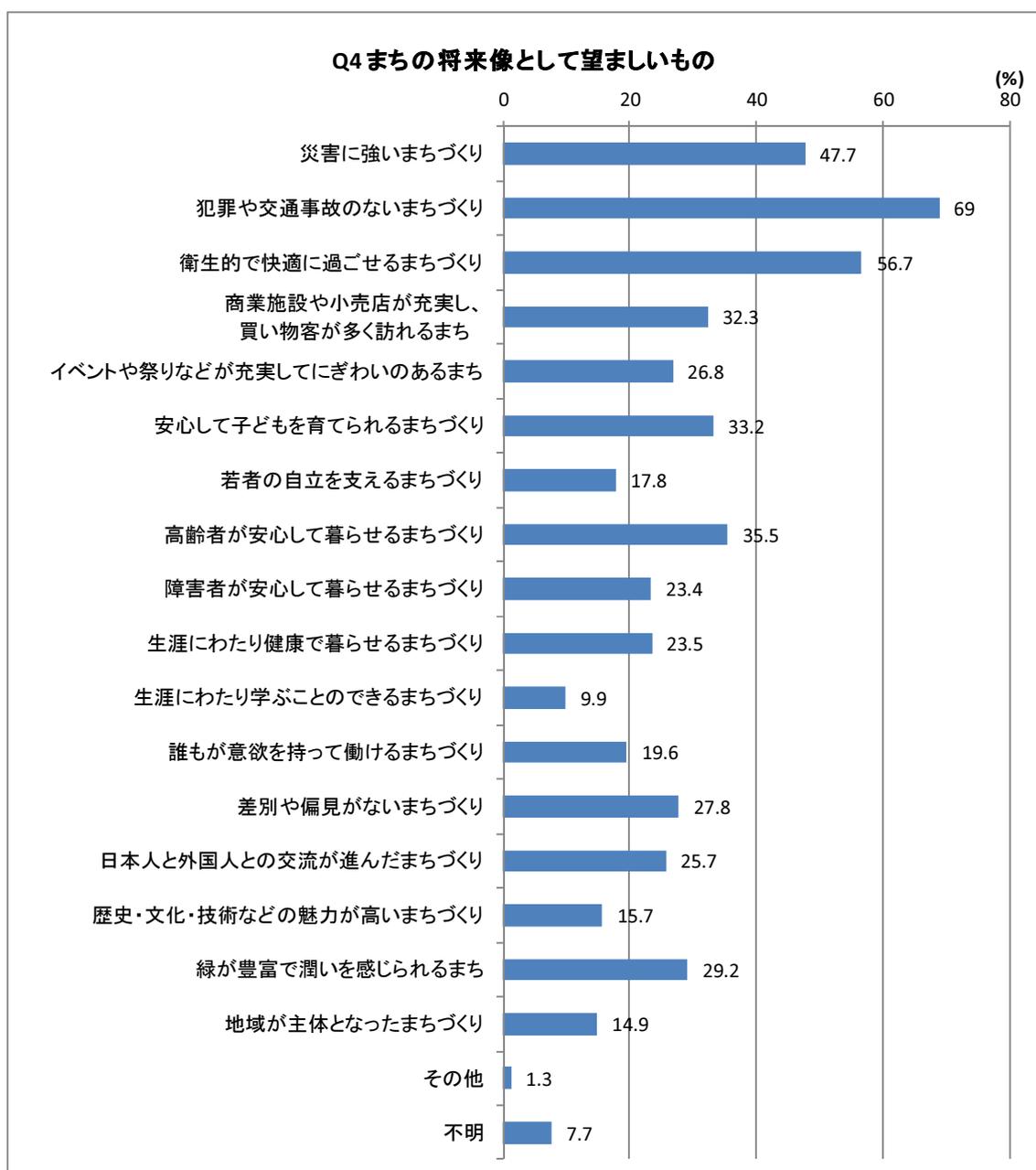
■ 知っている ■ 参加したことがある ■ 知らない ■ 不明

Q3 栄東地区の事業や団体の認知度（住民または働きに来ている人で栄4丁目と5丁目の比較）

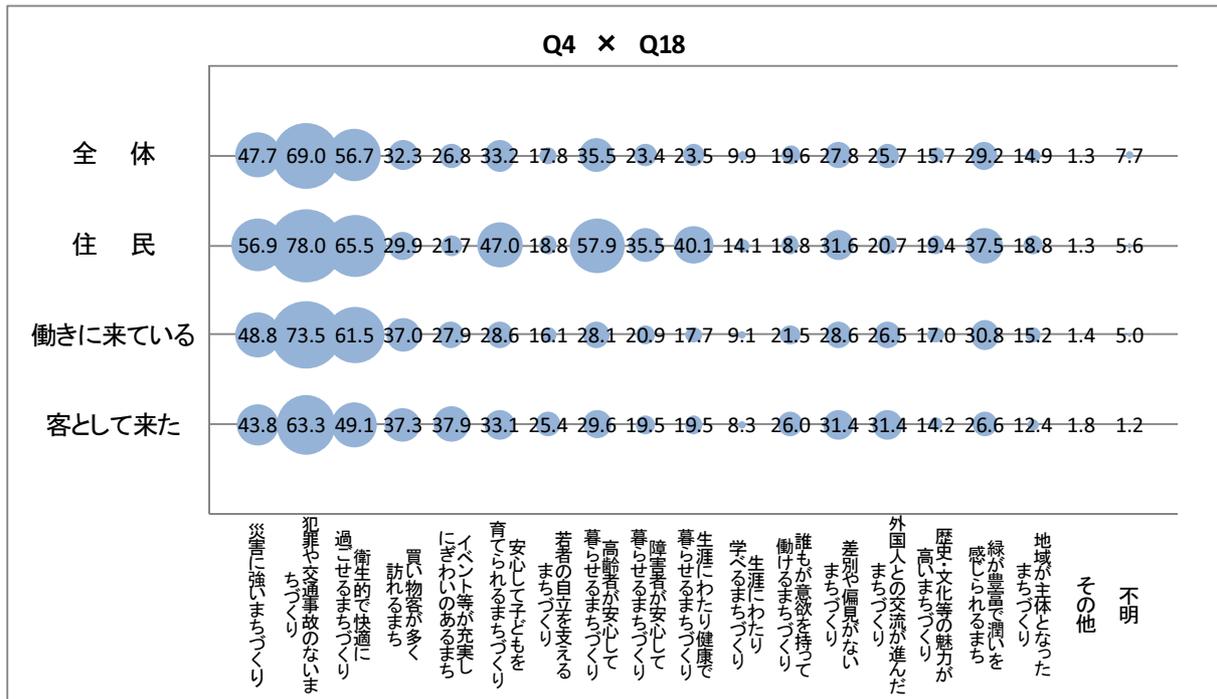


④まちの将来像として望ましいもの

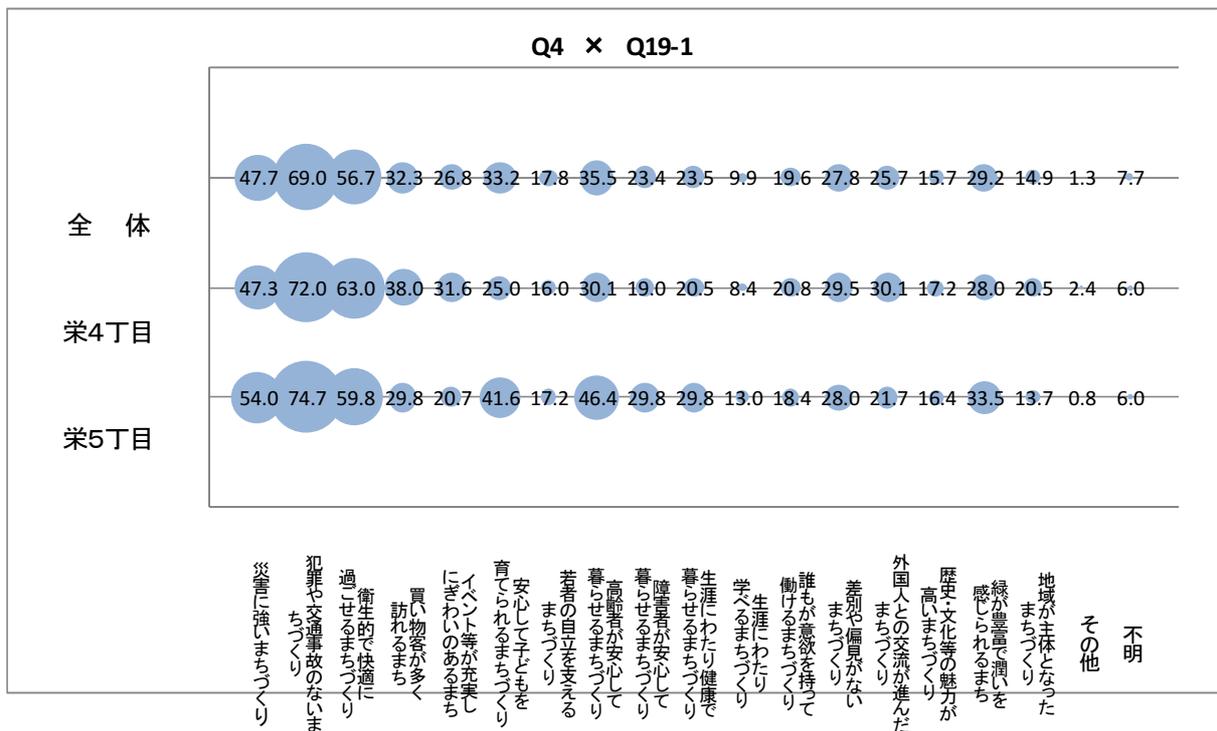
- ・全体では、「犯罪や交通事故のないまちづくり」が69%と高く、次いで「衛生的で快適に過ごせるまちづくり」づくり56.7%、「災害に強いまちづくり」47.7%の順に高い。
- ・一方、「歴史・文化・技術などの魅力が高いまちづくり」15.7%、「地域が主体となったまちづくり」14.9%、「生涯にわたり学ぶことのできるまちづくり」9.9%と関心が低い。
- ・住民・働きに来ている人・客としてきた人で比較すると、住民の回答が上記の項目に次いで「高齢者」「子育て」「健康」「緑が豊富で潤い」などの比率が高い。一方、働きに来ている人や客としてきた人は「商業等の充実」の比率が高い。
- ・地区別（住民・働きに来ている人）では、栄4丁目が「商業等の充実」、栄5丁目が「高齢者」「子育て」「緑が豊富で潤い」などの比率が高い。



Q4 まちの将来像として望ましいもの（住民・働きに来ている人・客としてきた人の比較）



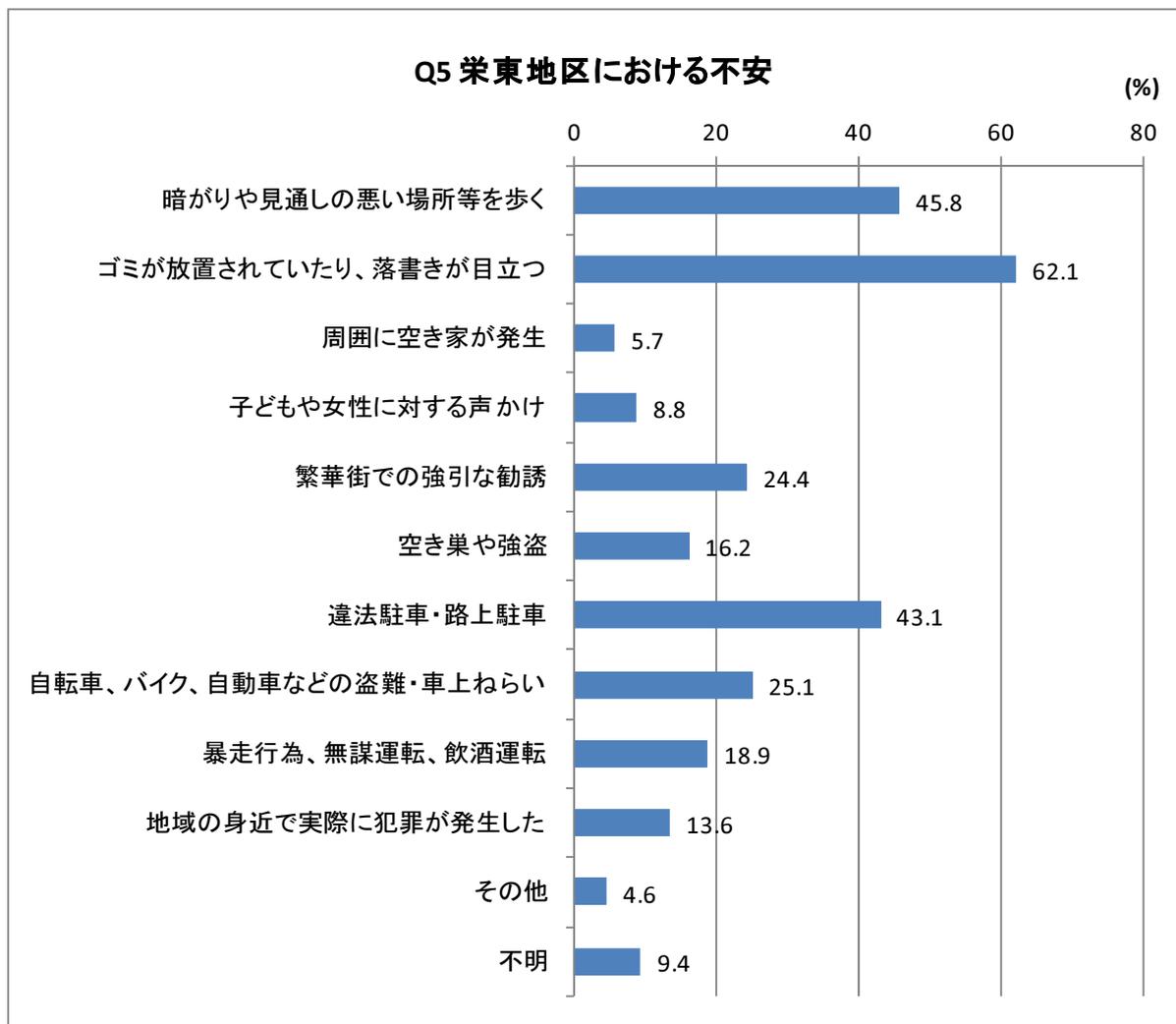
Q4 街の将来像として望ましいもの（住民または働きに来ている人で栄4丁目と5丁目の比較）



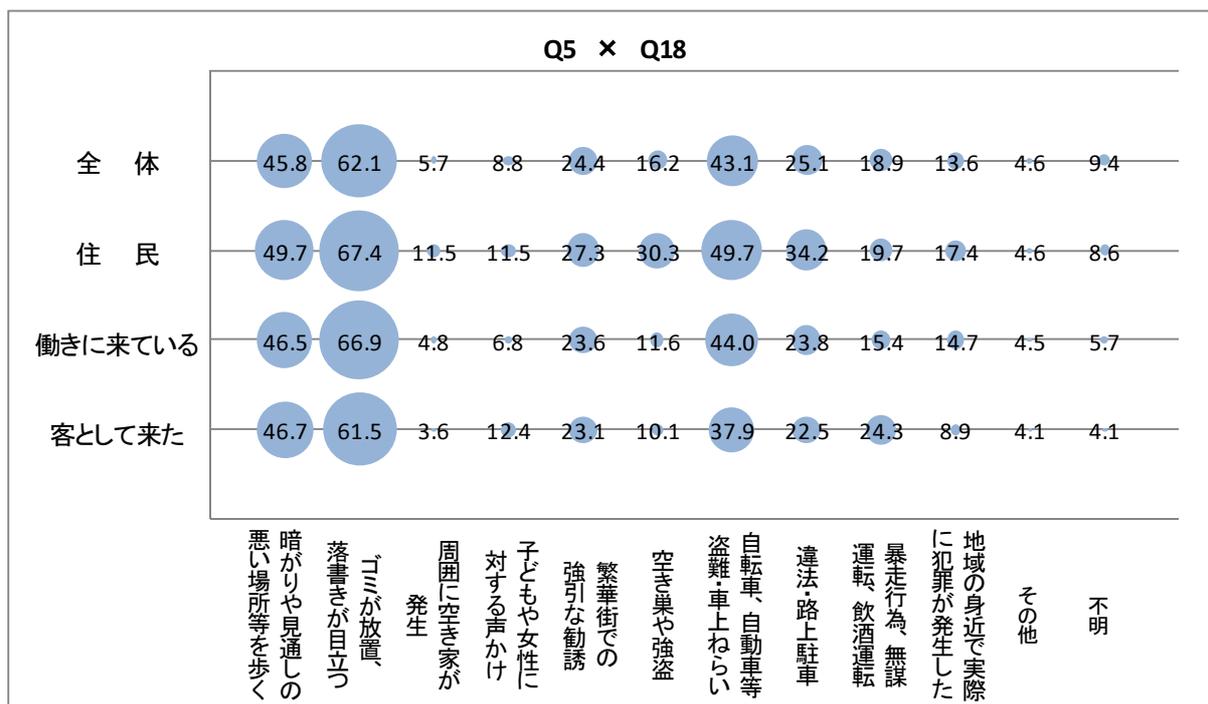
(3) 防犯・防災について

① 栄東地区における不安

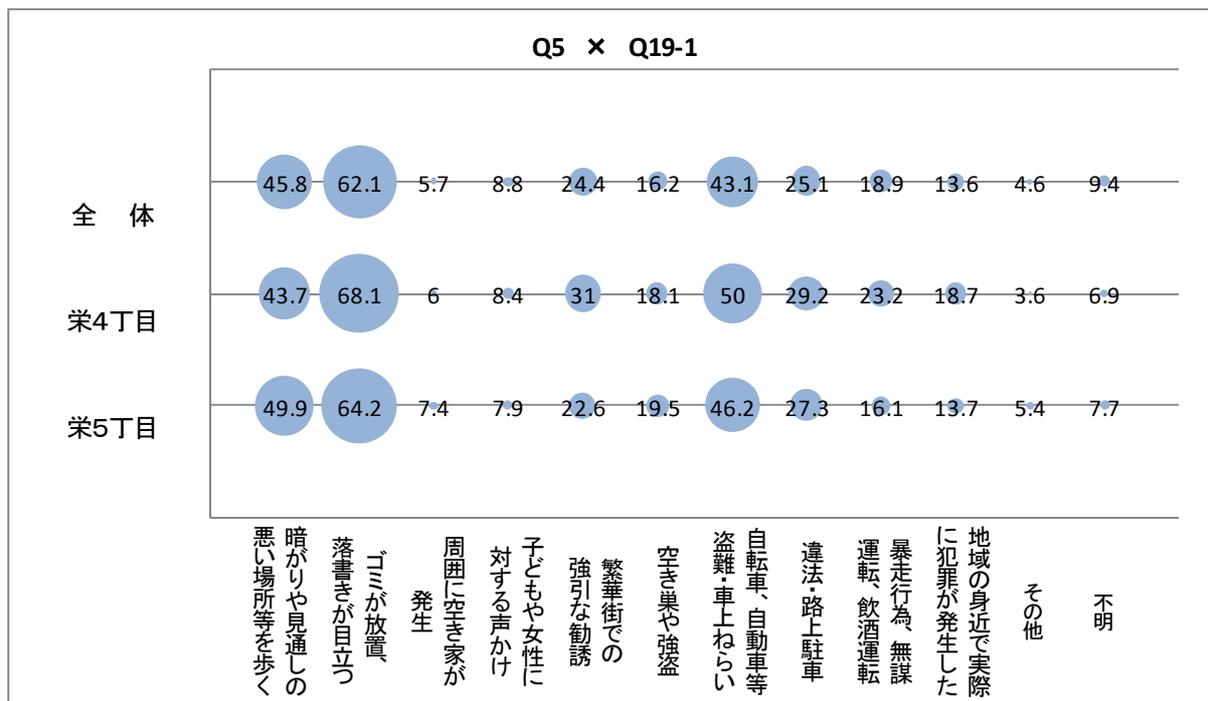
- ・全体では、「ゴミが放置されていたり、落書きが目立つ」が62.1%と高く、次いで「暗がりや見通しの悪い場所等を歩く」45.8%、「違法駐車・路上駐車」43.1%、「自転車、バイク、自動車などの盗難・車上ねらい」25.1%、「繁華街での強引な勧誘」24.4%の順に高い。
- ・住民・働きに来ている人・客としてきた人で比較すると、「ゴミの放置や落書き」「暗がりや見通しの悪い場所等」が全般に比率が高く、次いで住民の回答は「自転車・自動車等の盗難・車上ねらい」「違法・路上駐車」「空き巣や強盗」の比率が高い。
- ・地区別（住民・働きに来ている人）では、栄4丁目、栄5丁目とも同様の傾向で差は少ない。



Q5 栄東地区における不安（住民・働きに来ている人・客としてきた人の比較）

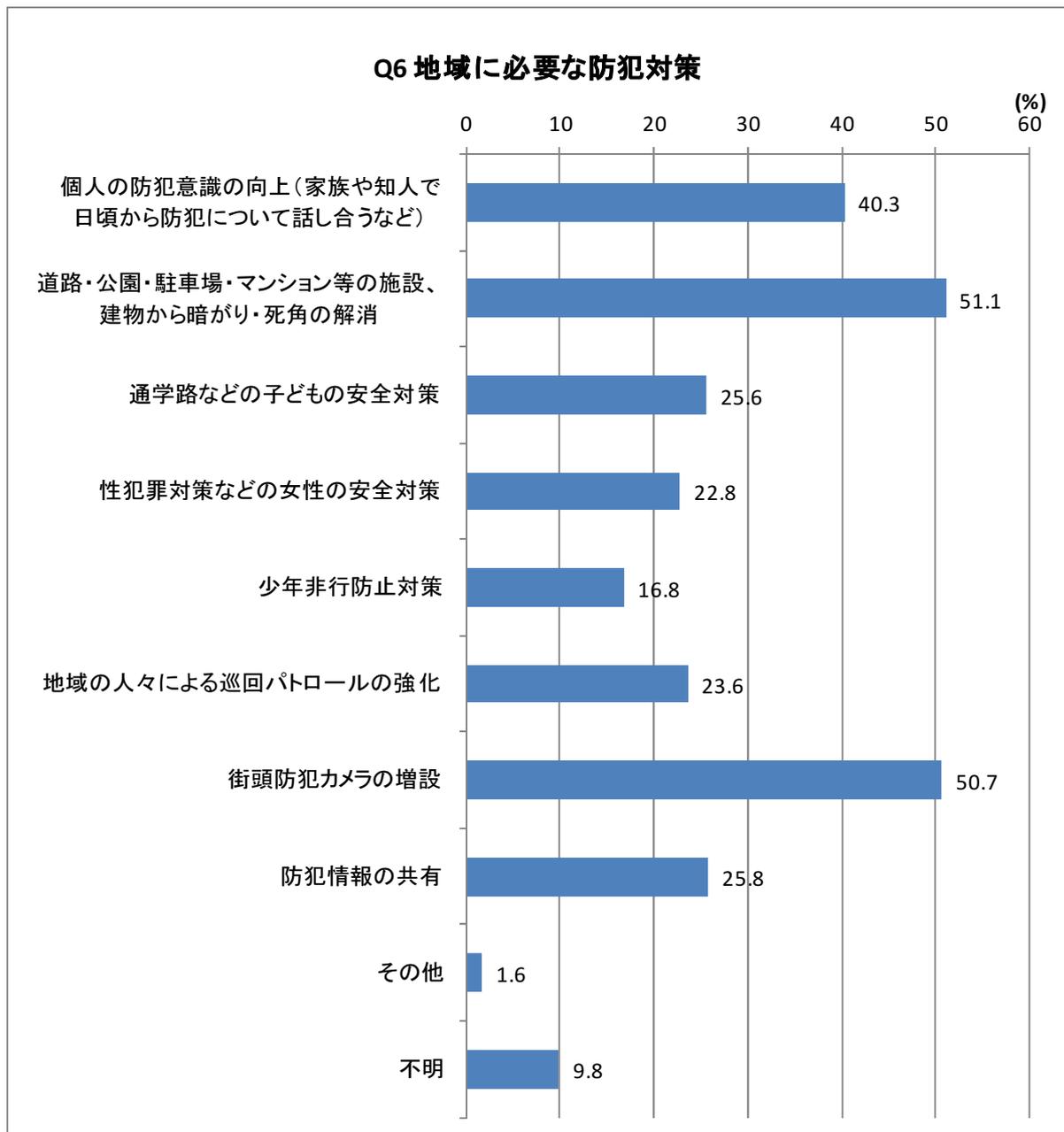


Q5 栄東地区における不安（住民または働きに来ている人で栄4丁目と5丁目の比較）

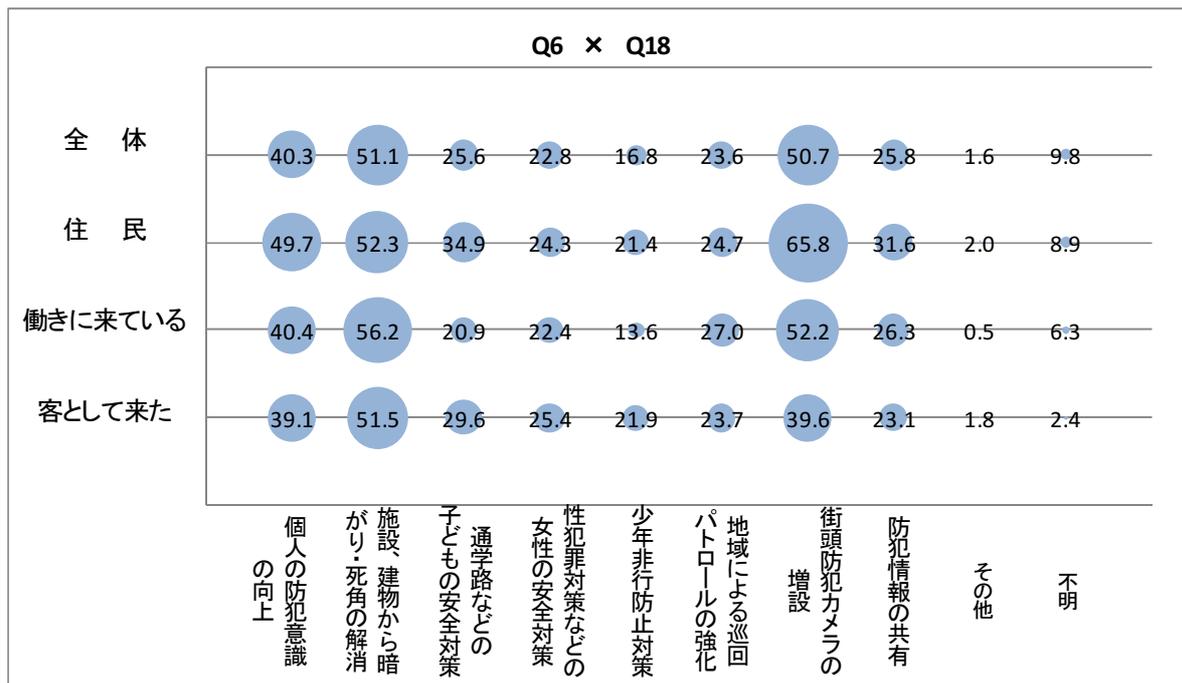


②地域に必要な防犯対策

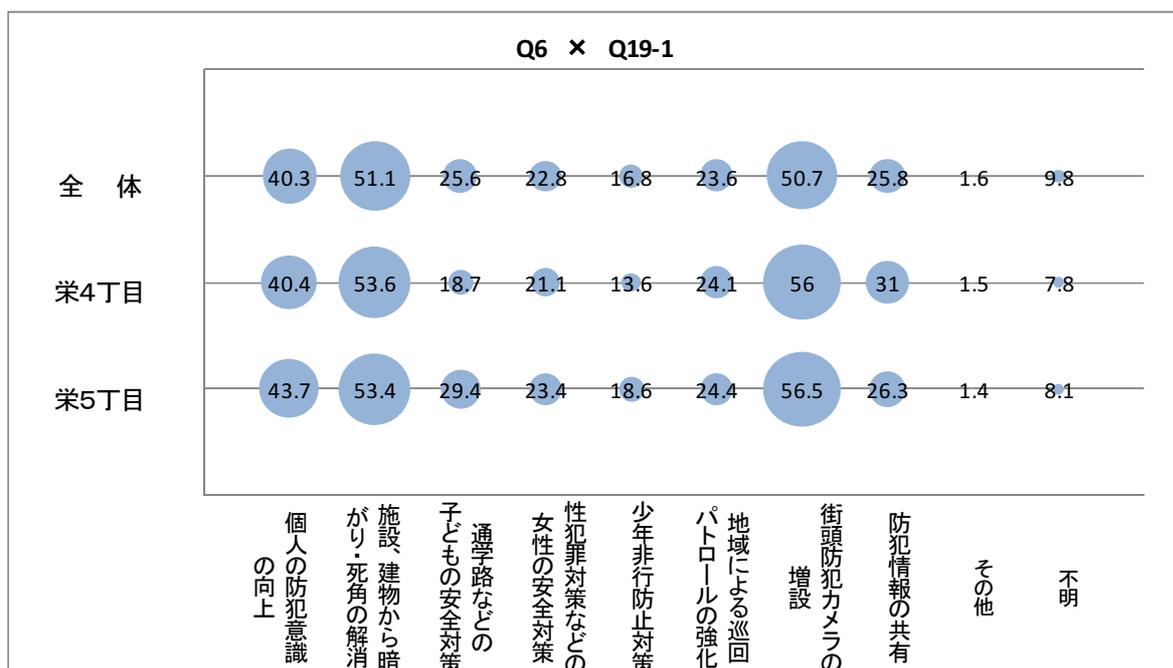
- ・全体では「道路・公園・駐車場・マンション等の施設、建物から暗がり・死角の解消」が51.1%と高く、ついで「街頭防犯カメラの増設」50.7%、「個人の防犯意識の向上（家族や知人で日頃から防犯について話し合うなど）」40.3%と高い。
- ・住民・働きに来ている人・客としてきた人で比較すると、住民は「街頭防犯カメラの増設」が特に比率が高く、働きに来ている人は「施設、建物から暗がり・死角の解消」が高い。
- ・地区別（住民・働きに来ている人）では、栄4丁目、栄5丁目とも同様の傾向で差は少ない。



Q6 地域に必要な防犯対策（住民・働きに来ている人・客としてきた人の比較）

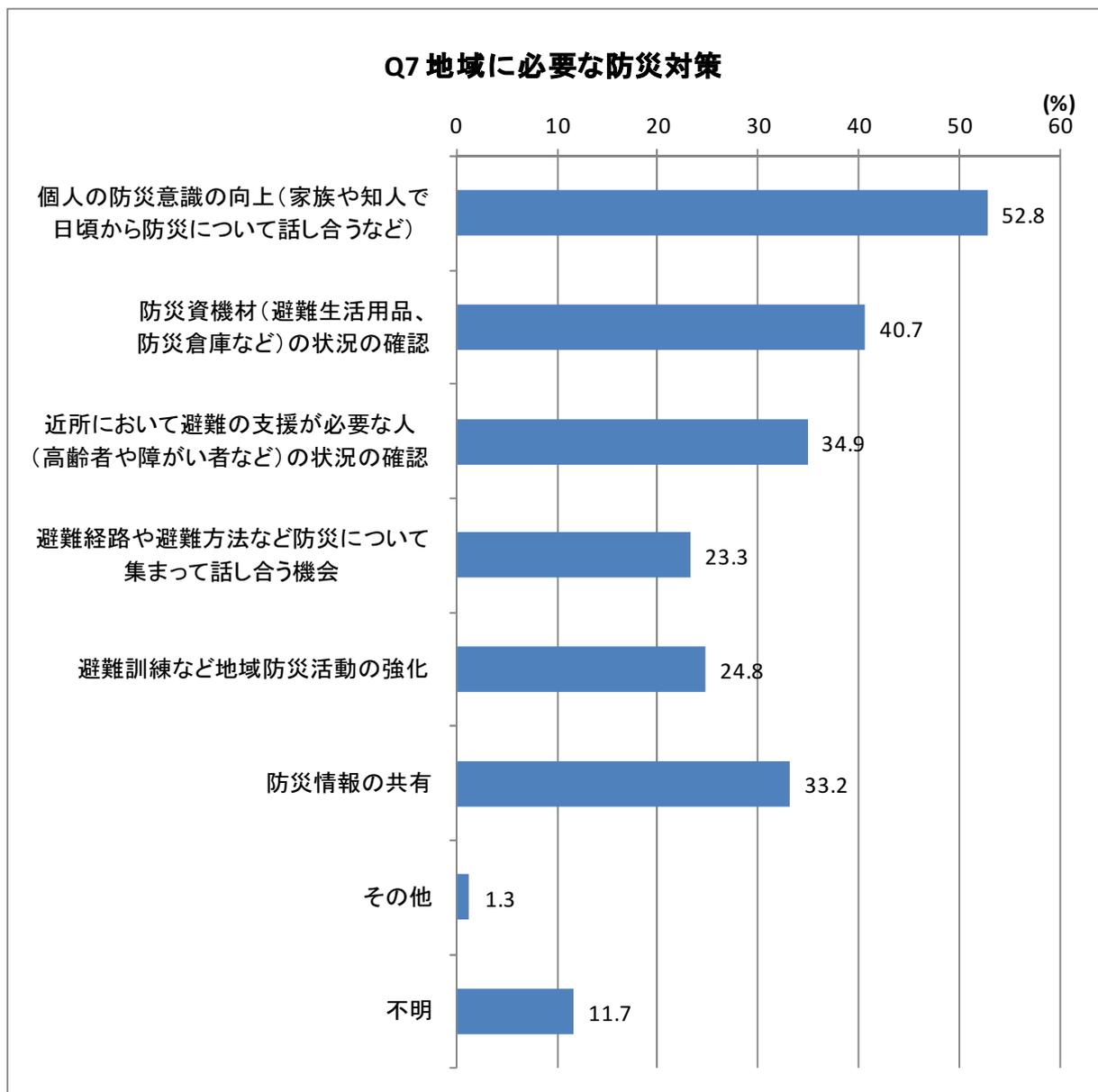


Q6 地域に必要な防犯対策（住民または働きに来ている人で栄4丁目と5丁目の比較）

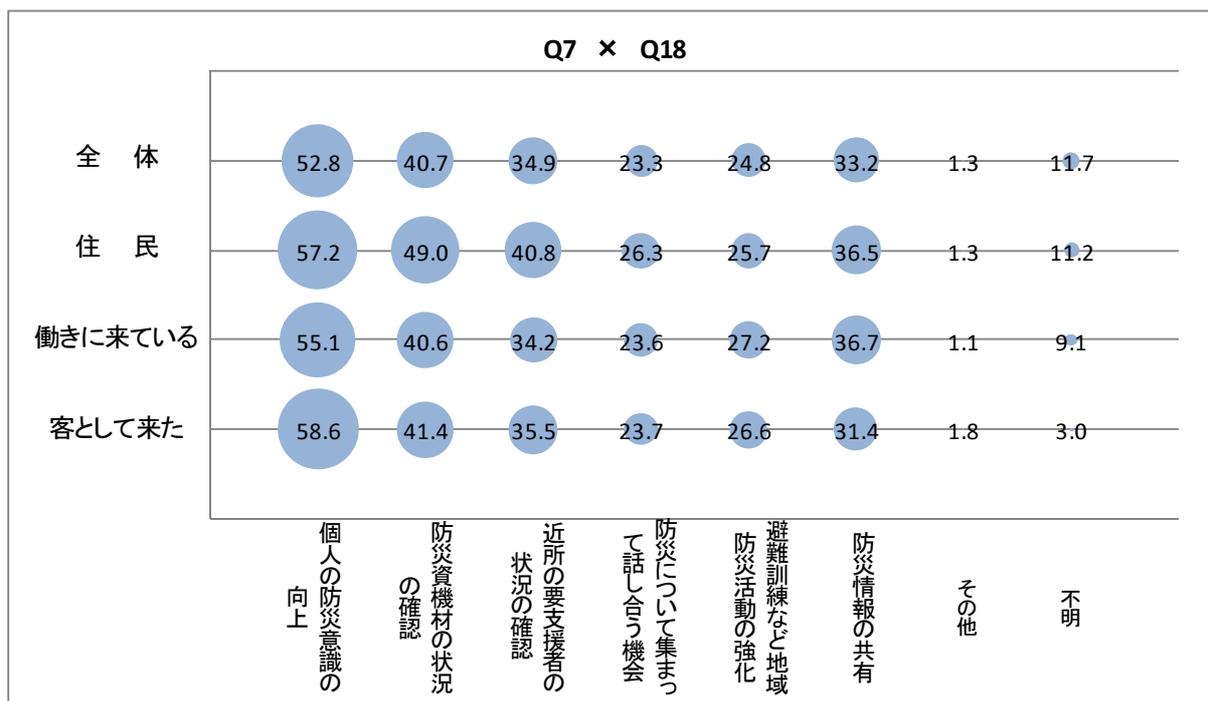


③地域に必要な防災対策

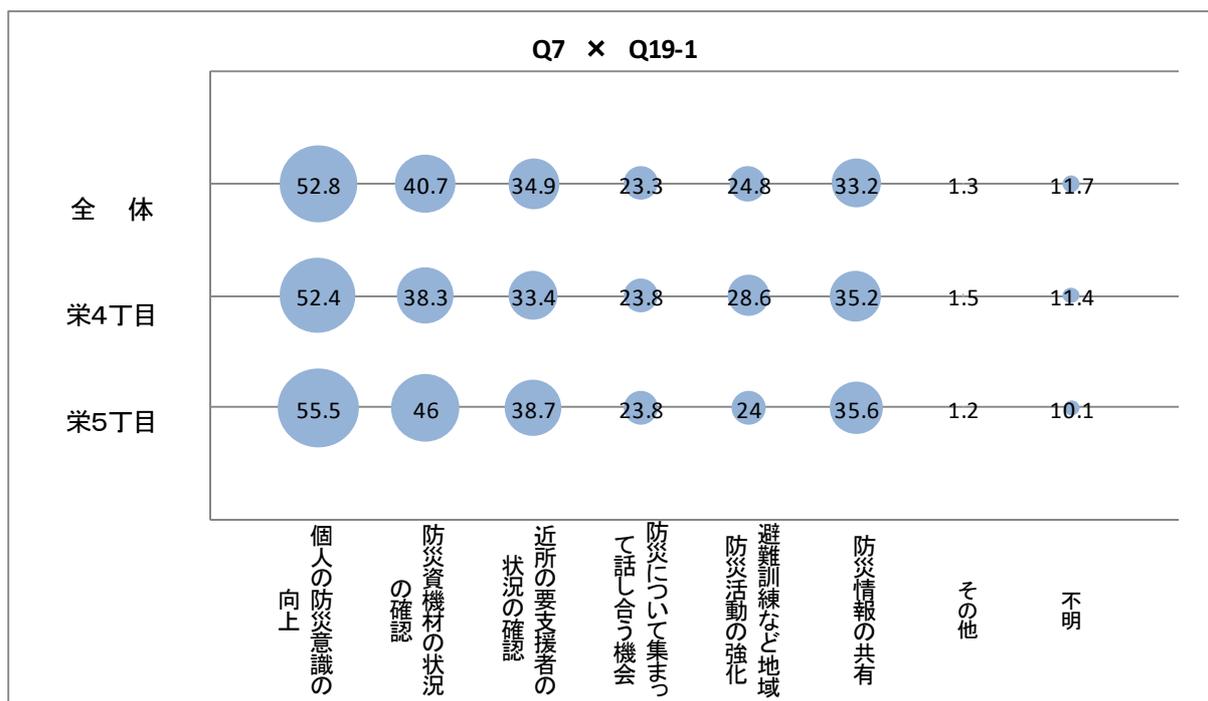
- ・全体では、「個人の防災意識の向上（家族や知人で日頃から防災について話し合うなど）」52.8%、「防災資機材（避難生活用品、防災倉庫など）の状況の確認」40.7%の順に高く、次いで「近所において避難の支援が必要な人（高齢者や障がい者など）の状況の確認」34.9%、「防災情報の共有」33.2%等が高い。情報共有が重要視されている。
- ・住民・働きに来ている人・客としてきた人で比較すると、いずれも「個人の防災意識の向上」や「防災資機材の状況の確認」、次いで住民は「近所の要支援者の状況の確認」が多い。
- ・地区別（住民・働きに来ている人）では、防犯対策と同様に栄4丁目と栄5丁目とも同様の傾向で差は少ない。



Q7 地域に必要な防災対策（住民・働きに来ている人・客としてきた人の比較）



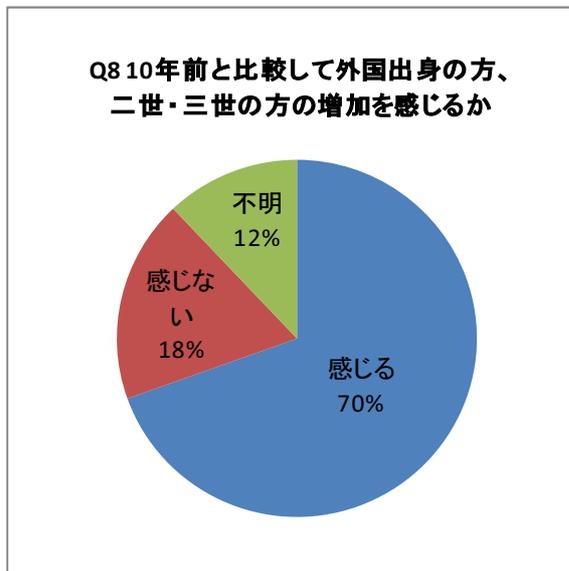
Q7 地域に必要な防災対策（住民または働きに来ている人で栄4丁目と5丁目の比較）



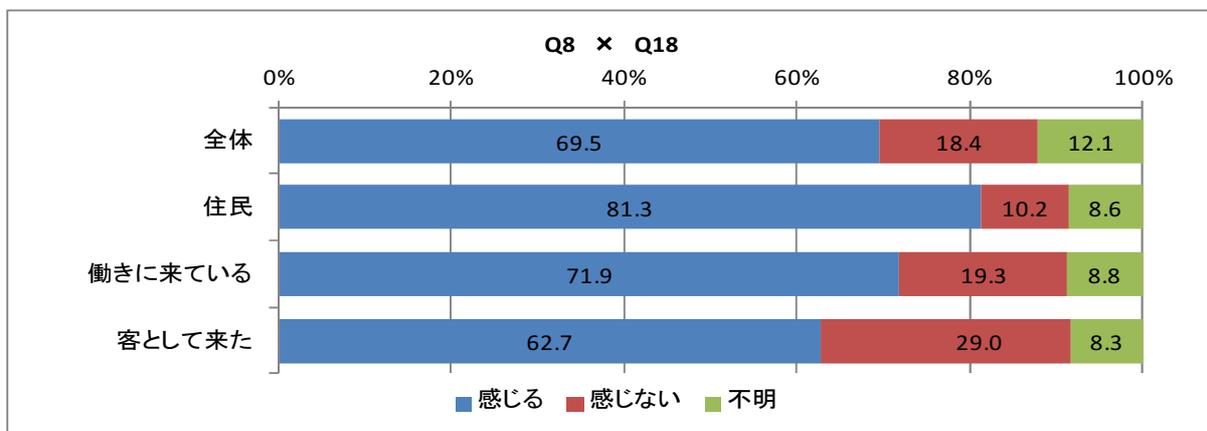
(4) 外国人との共生について

①10年前と比較して外国出身の方、二世・三世の方の増加を感じるか

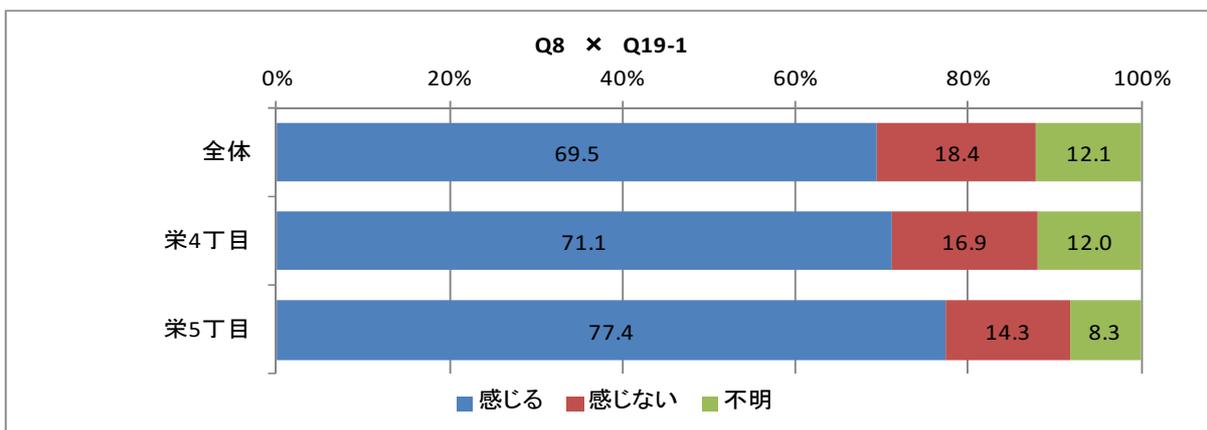
- ・全体では、外国出身の方、二世・三世の方の増加を「感じる」が70%と高い。
- ・住民・働きに来ている人・客としてきた人で比較すると、住民、働きに来ている人、客としてきた人の順に「感じる」の比率が高い。
- ・地区別（住民・働きに来ている人）では、栄5丁目の方が「感じる」の比率が高い。



Q8 外国出身の方等の増加を感じるか（住民・働きに来ている人・客としてきた人の比較）

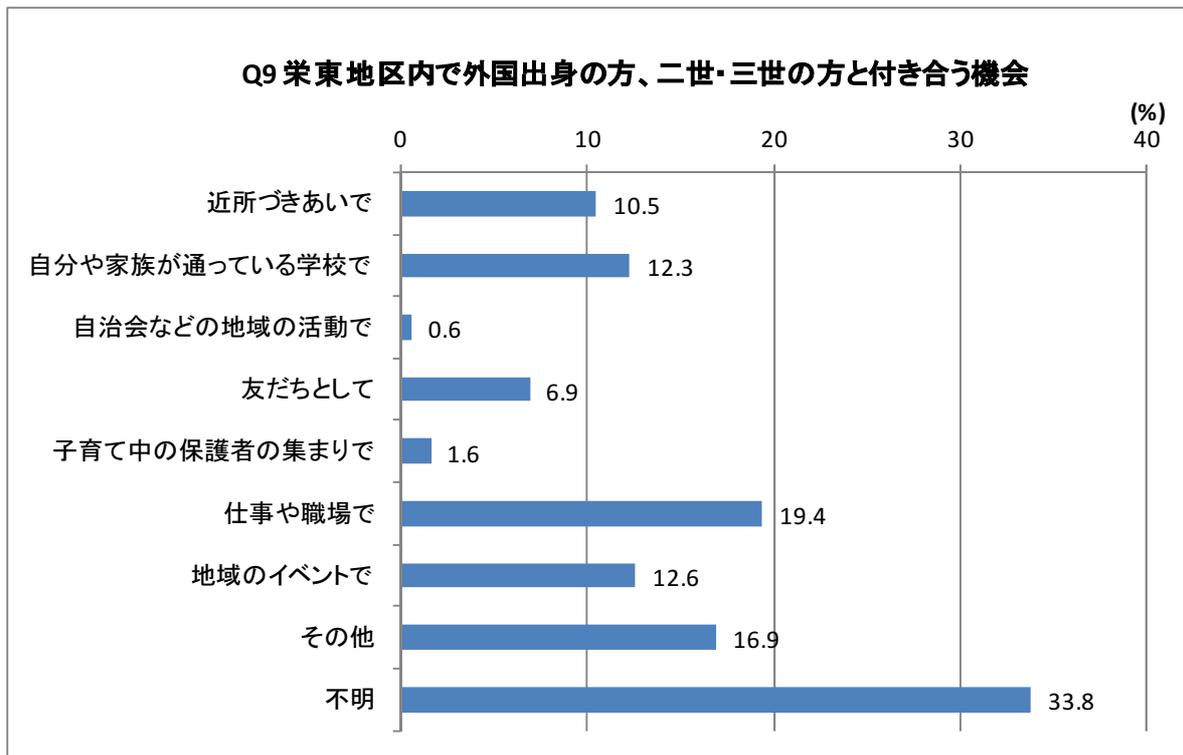


Q8 外国出身の方等の増加を感じるか（住民または働きに来ている人で栄4丁目と5丁目の比較）

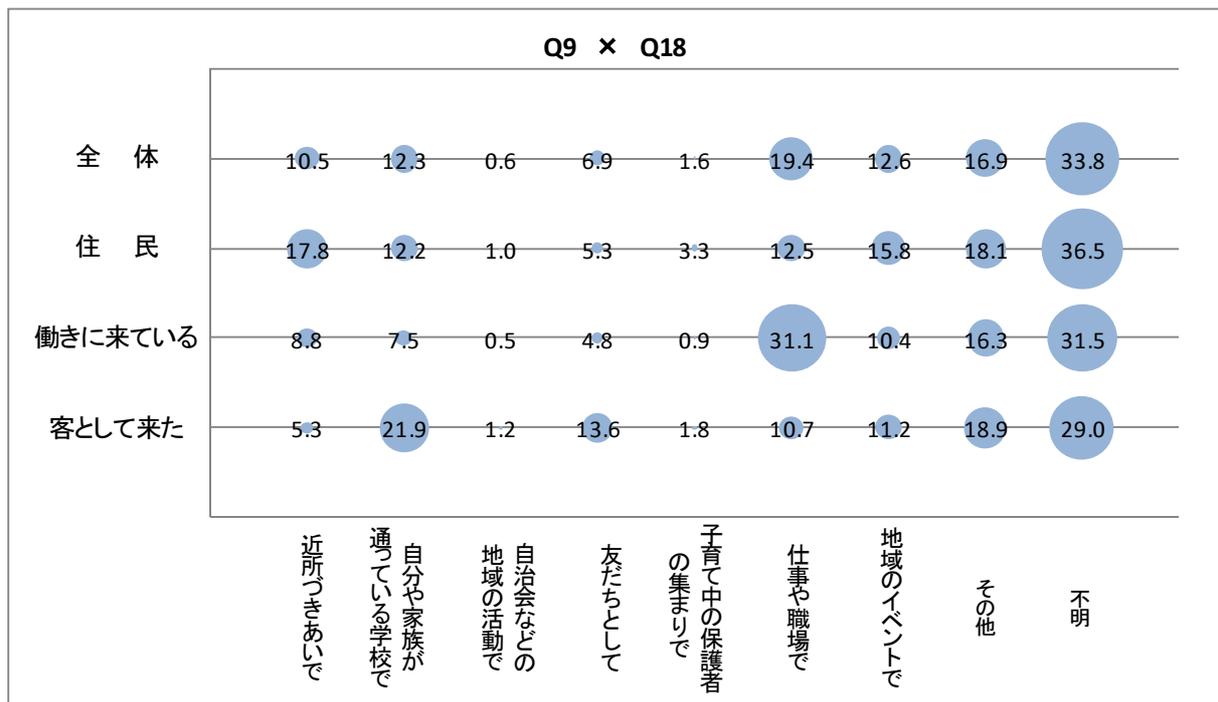


② 栄東地区内で外国出身の方、二世・三世の方と付き合う機会

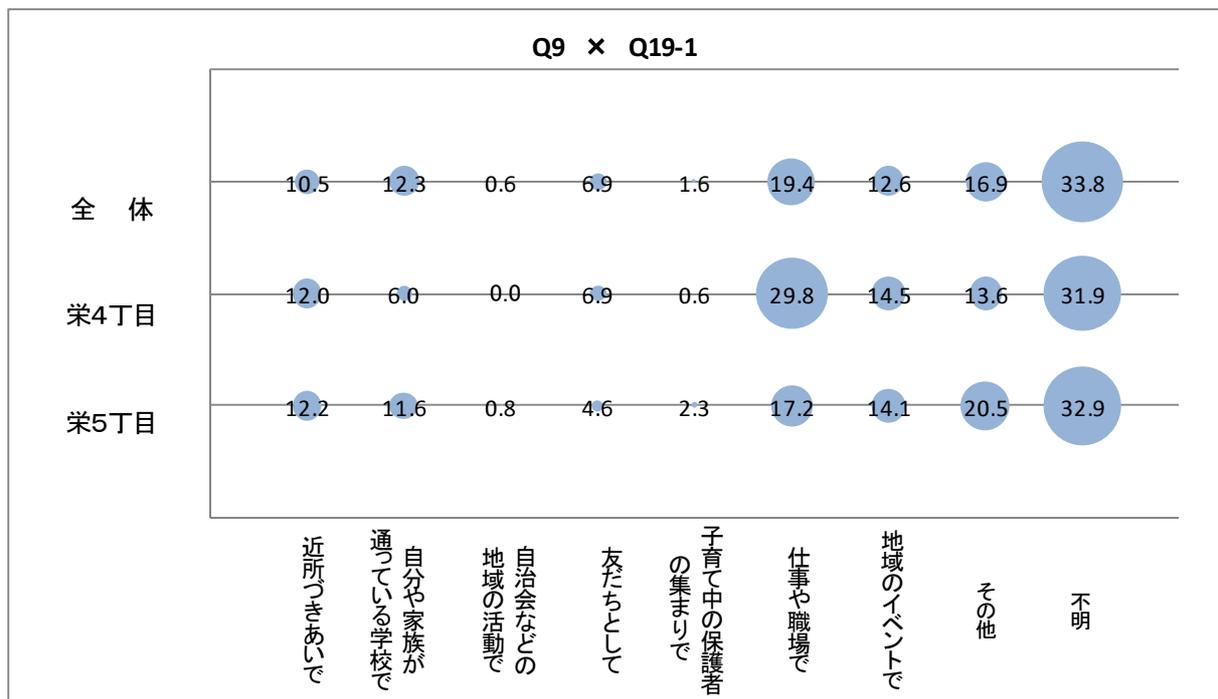
- ・全体では「仕事や職場で」が19.4%と高く、次いで「地域のイベントで」12.6%、「自分や家族が通っている学校で」12.3%の順に高い。一方、「その他」のコメントが多かったのが「付き合う機会がない等」であり、「不明」を含めて付き合う機会がない人も多くいると思われる。
- ・住民・働きに来ている人・客としてきた人で比較すると、働きに来ている人が「仕事や職場で」の比率がより高い。
- ・地区別（住民・働きに来ている人）では、栄4丁目の方が「仕事や職場で」の比率がより高い。



Q9 外国出身の方等と付き合う機会（住民・働きに来ている人・客としてきた人の比較）

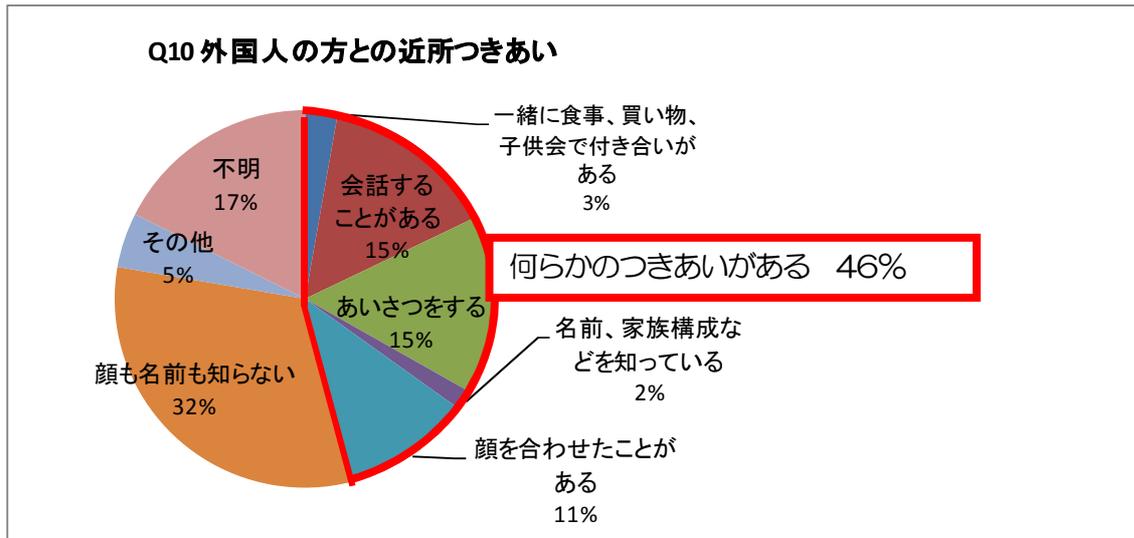


Q9 外国出身の方等と付き合う機会（住民または働きに来ている人で栄4丁目と5丁目の比較）

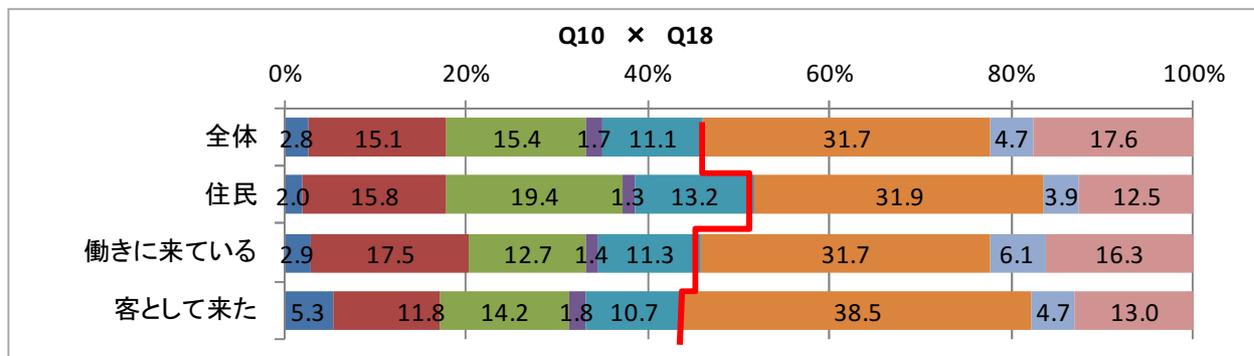


③外国人の方との近所つきあい

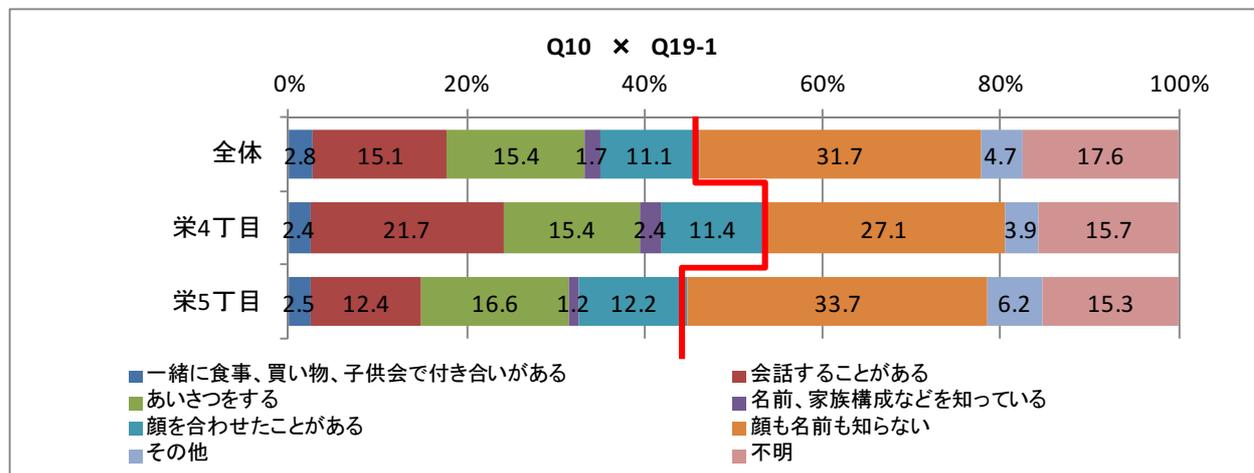
- ・全体では、「顔も名前も知らない」が32%と多い。一方、付き合いが深い人から顔見知り程度まで「何らかのつきあいがある」は46%と半数ほどあり、「会話することがある」「あいさつをする」が15%ずつ、「顔を合わせたことがある」が11%の順に高い。
- ・住民・働きに来ている人・客としてきた人で比較すると、住民は「何らかのつきあいがある」の比率が高い。
- ・地区別（住民・働きに来ている人）では、栄4丁目の方が「何らかのつきあいがある」の比率が高い。



Q10 外国人の方との近所つきあい（住民・働きに来ている人・客としてきた人の比較）

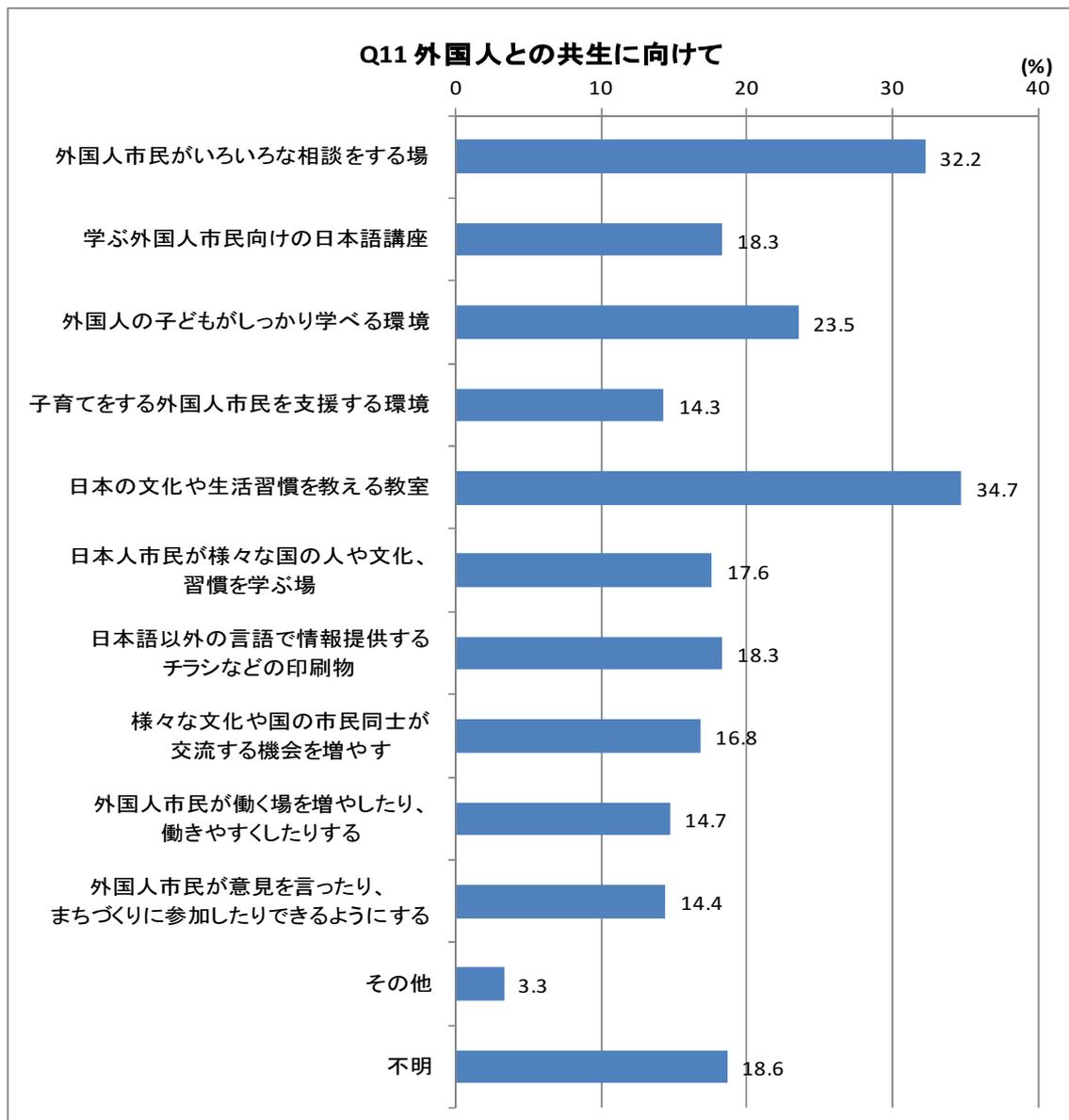


Q10 外国人の方との近所つきあい（住民または働きに来ている人で栄4丁目と5丁目の比較）

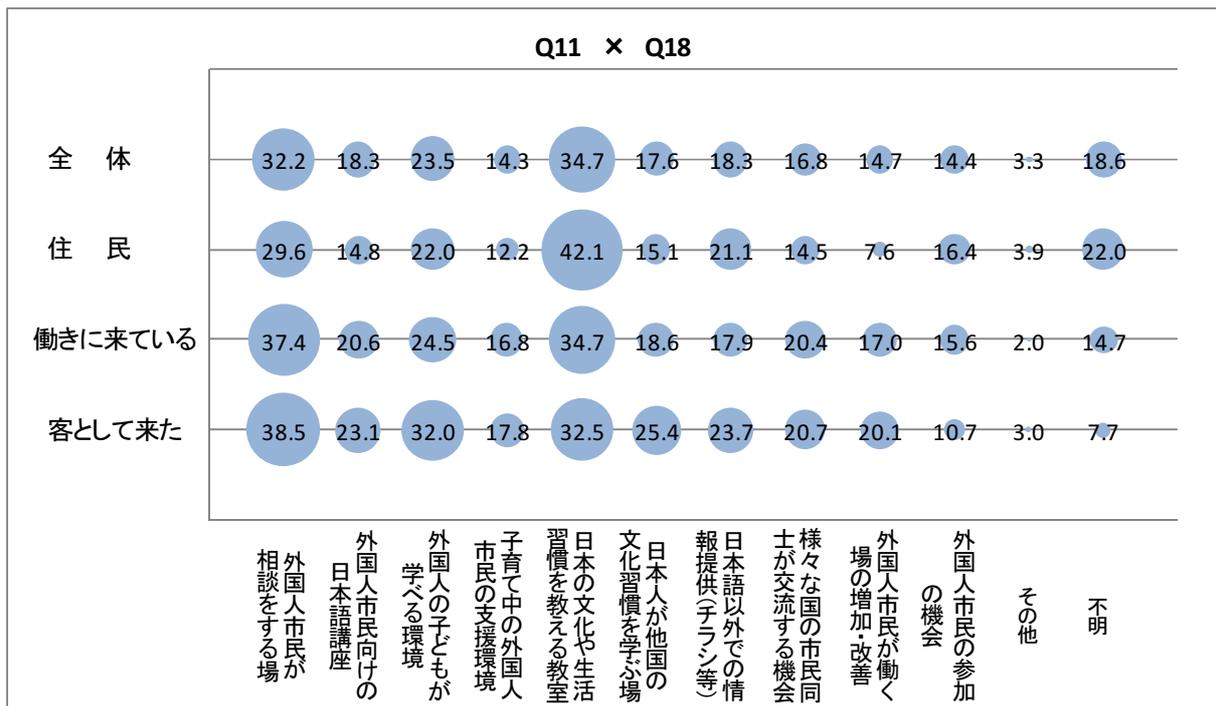


④外国人との共生に向けて必要なこと

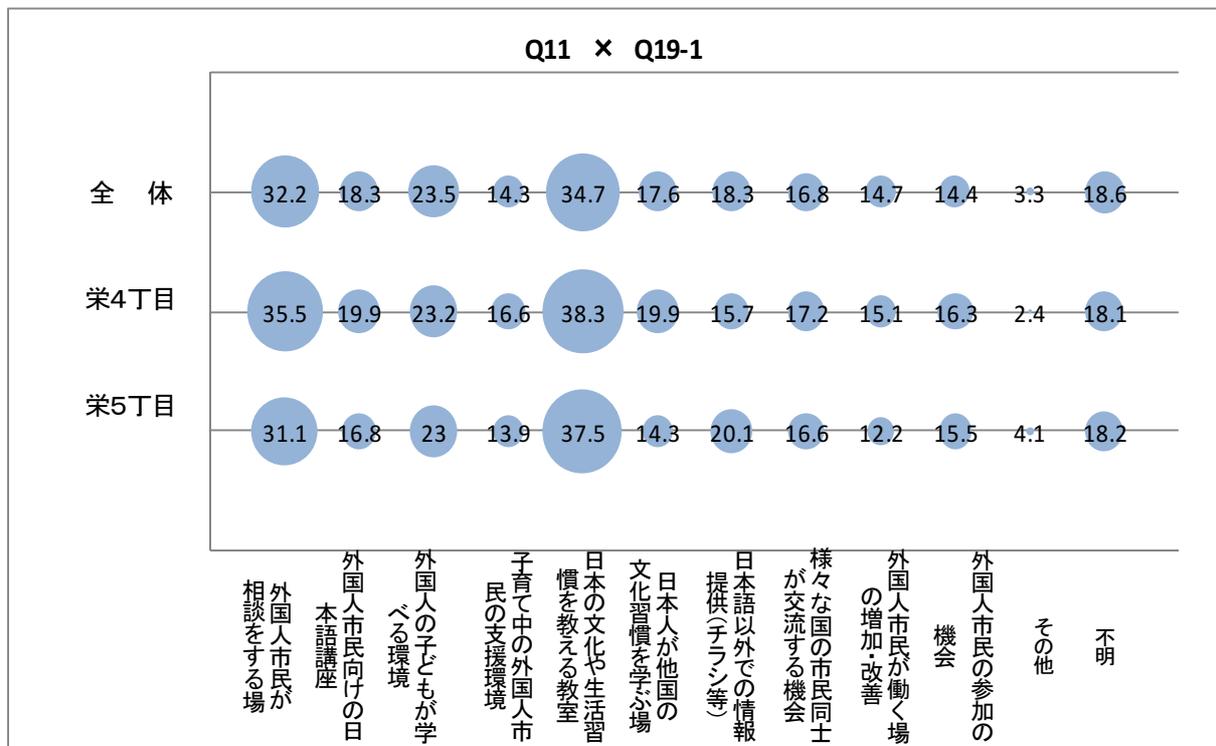
- ・全体では「日本文化や生活習慣を教える教室」が34.7%と高く、次いで「外国人市民がいろいろな相談をする場」32.2%、「外国人の子どもがしっかり学べる環境」23.5%の順に高い。
- ・住民・働きに来ている人・客としてきた人で比較すると、住民は「日本文化や生活習慣を教える教室」の比率がより高いのに対し、働きに来ている人や客としてきた人は「外国人市民がいろいろな相談をする場」の比率がより高い。
- ・地区別（住民・働きに来ている人）では、栄4丁目と栄5丁目の差は少ない。



Q11 外国人との共生に向けて必要なこと（住民・働きに来ている人・客としてきた人の比較）



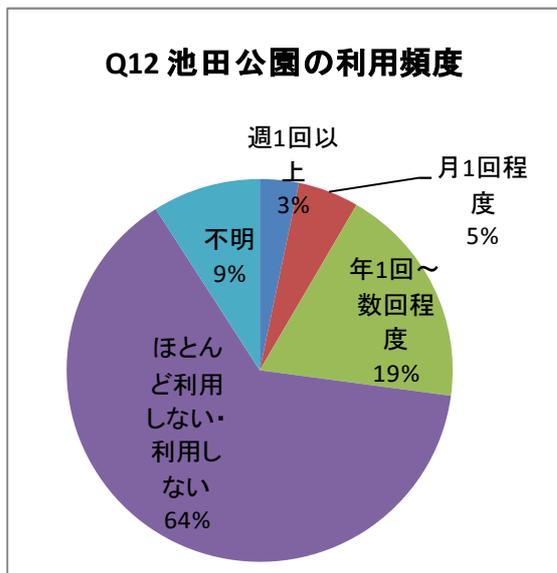
Q11 外国人との共生に向けて必要なこと（住民または働きに来ている人で栄4丁目と5丁目の比較）



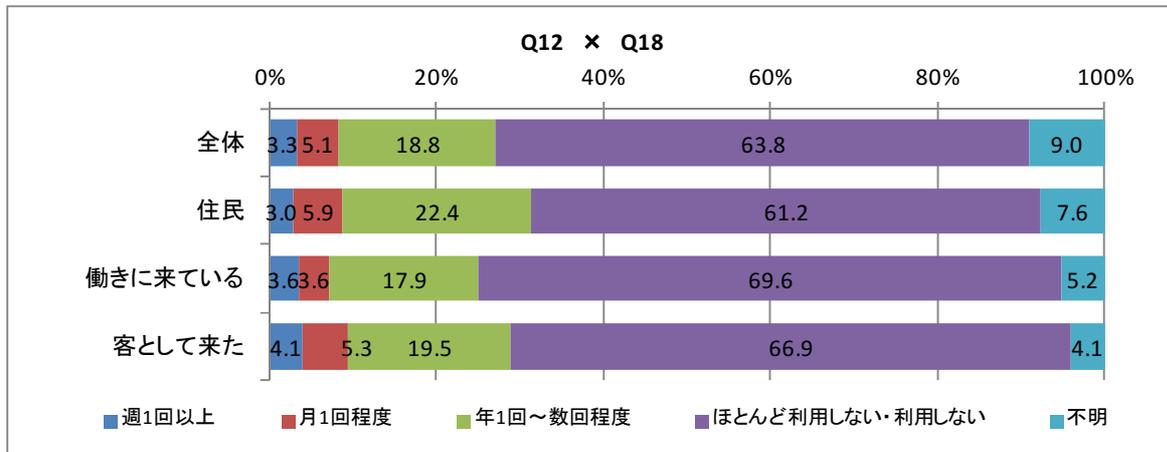
(5) 池田公園について

①池田公園の利用頻度

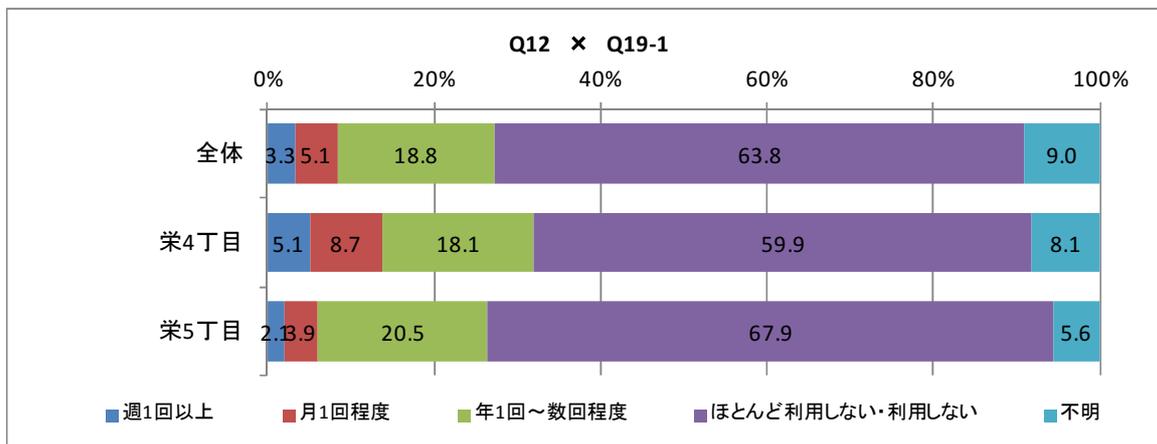
- ・全体では「ほとんど利用しない・利用しない」が64%と最も高く、「年1回～数回程度」19%、「月1回程度」5%、「週1回以上」3%。公園の利用頻度が圧倒的に少ない。
- ・住民・働きに来ている人・客としてきた人別、地区別でも「ほとんど利用しない・利用しない」の比率が高い。



Q12 池田公園の利用頻度（住民・働きに来ている人・客としてきた人の比較）



Q12 池田公園の利用頻度（住民または働きに来ている人で栄4丁目と5丁目の比較）



②池田公園が将来はどんな公園になったら良いと思うか（自由回答）

- ・「治安」、「衛生」の改善についての意見が特に多い。「治安」については、安心して利用できることが求められ、警備の強化や街灯、防犯カメラの増設が提案されている。一方、「衛生」については、ゴミがなくカラスのいない、きれいな公園になることが望まれている。
- ・続いて「自然」、「活気」、「整備」、「イメージ」、「子供」、「交流」などについての意見が多い。緑豊かな花が多い公園、新しい遊具やベンチの設置など子供が集まり活気のある公園、明るいイメージの公園などの意見が出た。公園が地域の交流の場としての役割を果たす事が期待されている。

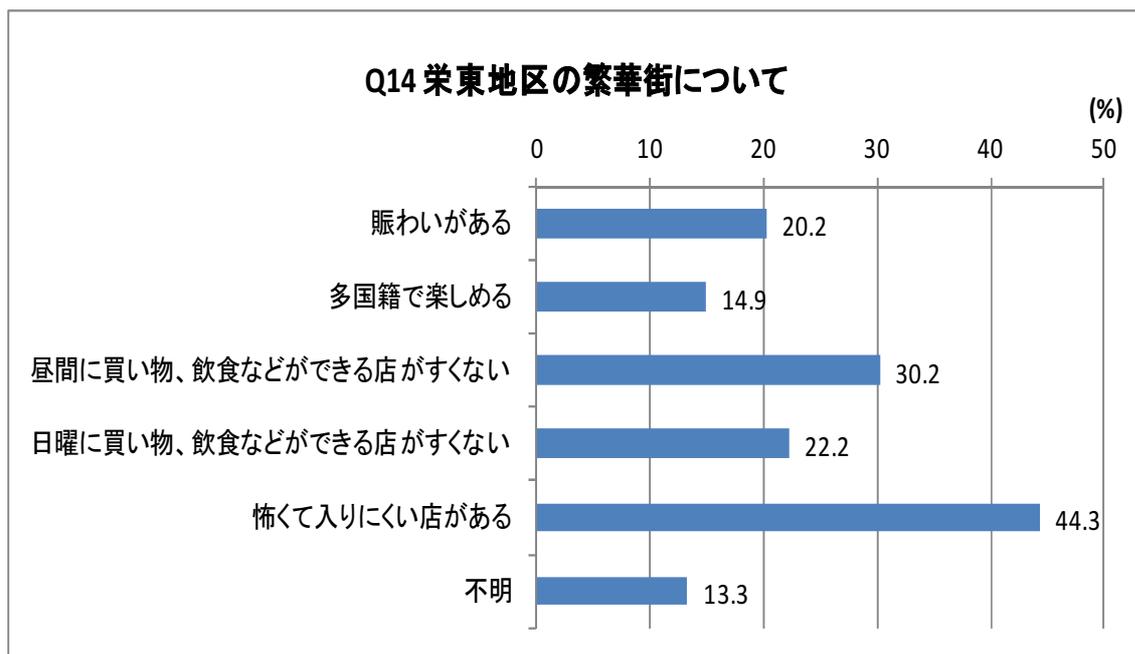
回答件数 計 315 件

回答の分類	件数	回答の分類	件数
治安	87	憩い	24
衛生	83	認知	17
子供	38	多世代	14
整備	36	現状維持	8
自然	35	ポケモン	8
イメージ（良い・悪い両方）	34	利便性	6
活気	34	子育て世代	4
交流	31	スポーツ	3

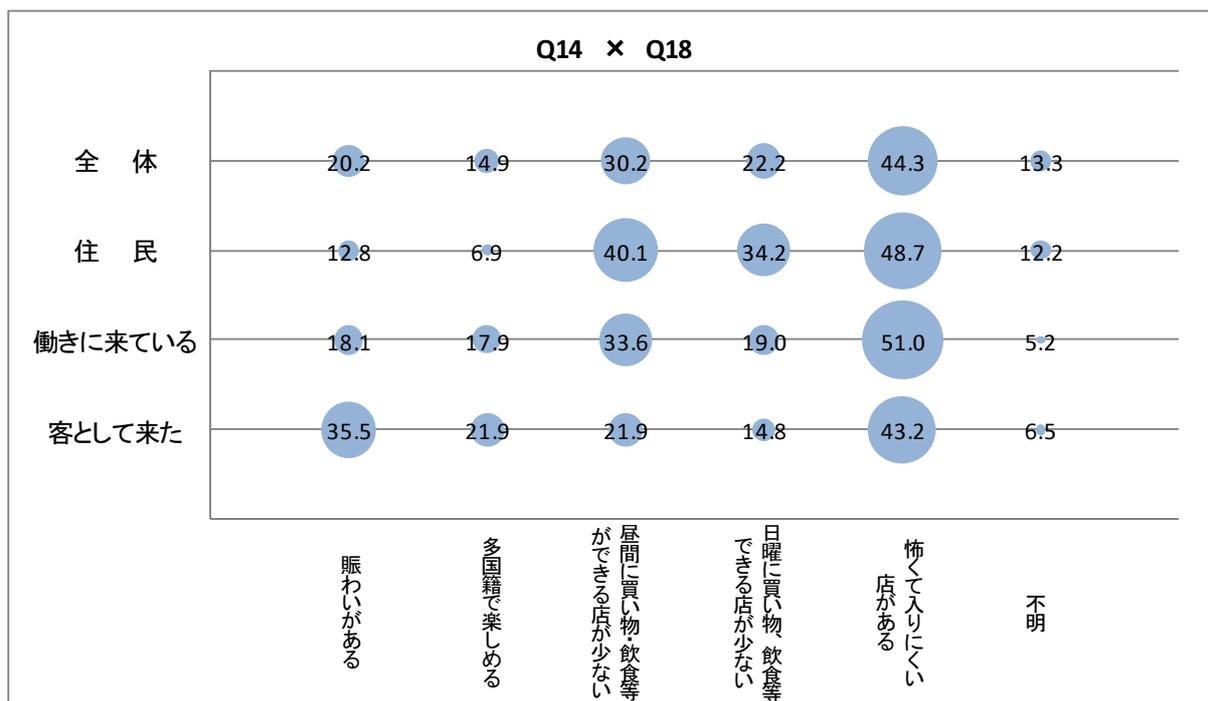
(6) 繁華街、女子大小路について

①栄東地区の繁華街について

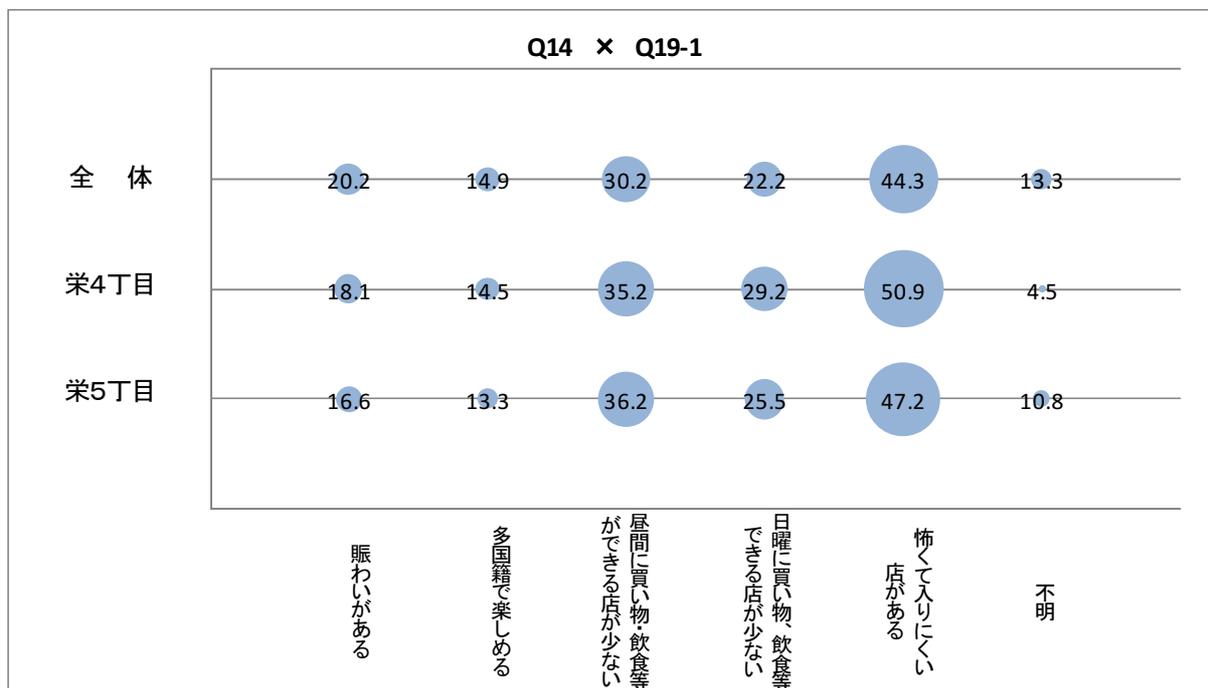
- ・全体では「怖くて入りにくい店がある」が44.3%と高く、次いで「昼間に買い物、飲食などができる店がすくない」が30.2%と高い。
- ・住民・働きに来ている人・客としてきた人で比較すると、住民は「昼間に買い物、飲食などができる場が少ない」「日曜に買い物、飲食などができる店が少ない」の比率が高いのに対し、客としてきた人は「賑わいがある」の比率が高い。常連客（＝この地区を気に入っている）の回答率が高いことが影響していると考えられる。
- ・地区別（住民・働きに来ている人）では、栄4丁目と栄5丁目の差は少ない。



Q14 栄東地区の繁華街について（住民・働きに来ている人・客としてきた人の比較）

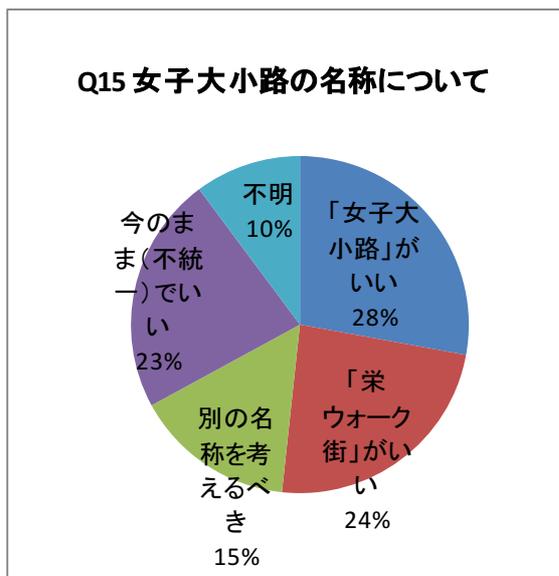


Q14 栄東地区の繁華街について（住民または働きに来ている人で栄4丁目と5丁目の比較）

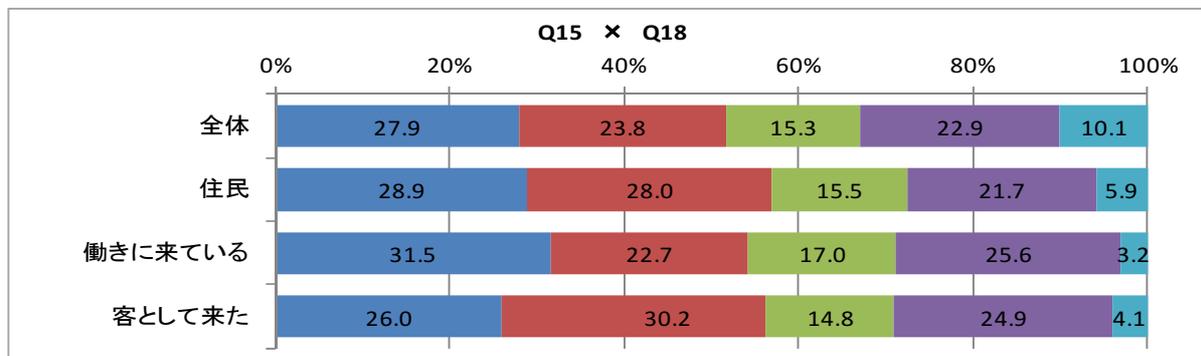


②女子大小路の名称について

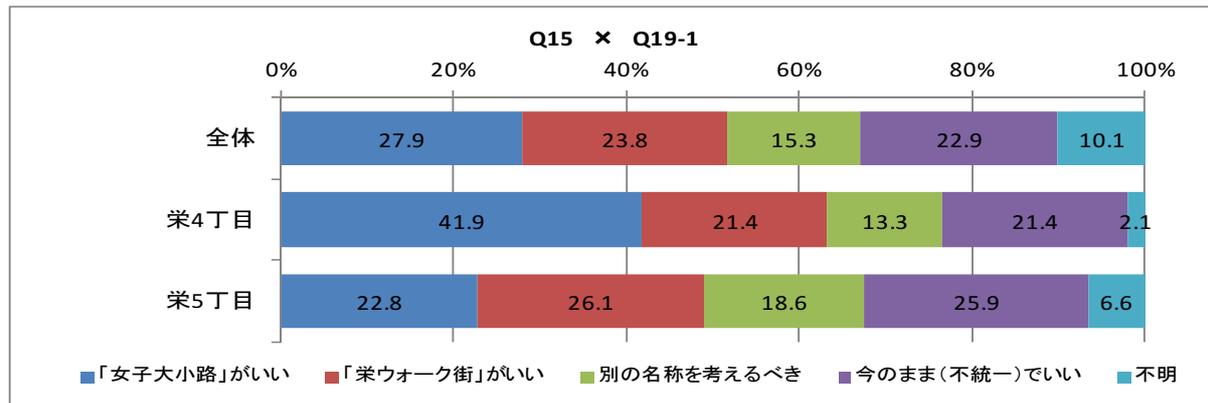
- ・全体では、『女子大小路』がいい 28%、『栄ウォーク街』がいい 24%、「今のまま（不統一）でいい」 23%、「別の名称を考えるべき」 15%となっており、意見が分かれた。
- ・住民・働きに来ている人・客としてきた人で比較すると、働きに来ている人は『女子大小路』がいい の比率が高いのに対し、客としてきた人は「栄ウォーク街」の方が高い。
- ・地区別（住民・働きに来ている人）では、栄4丁目は『女子大小路』がいい の比率が特に高く、栄5丁目は『栄ウォーク街』がいい に次いで「今のまま（不統一）でいい」 も高い。



Q15 女子大小路の名称について（住民・働きに来ている人・客としてきた人の比較）



Q15 女子大小路の名称について（住民または働きに来ている人で栄4丁目と5丁目の比較）



(7) 自由回答

- ・整備、治安、衛生面についての意見が多く、次いで、イメージ、利便性、活気、外国人、交流についての意見が多く意見が出た。
- ・整備については、防犯カメラの設置が特に多く、その他には街路樹、景観の整備に対する意見などもあった。
- ・治安については、駐車違反、スピード違反、ホームレスなどの具体例があげられた。
- ・衛生については、ゴミ問題が指摘され、それに併発するカラスの被害についての意見も出た。
- ・利便性については、交通の便や賑やかさなどについてお客として訪れた人からの意見があり、良いイメージを抱いて訪れていると思われる。
- ・外国人への関心はあり、住民や働き手を中心に交流の場を求める意見がある一方、外国人のマナー等の改善に対する意見があった。

回答件数 計 241 件

回答の分類	件数
衛生	62
整備	61
治安	57
イメージ	39
利便性	27
活気	25
外国人	16
交流	11
多世代	11
現状維持	11
自然	6
認知	5
ポケモン	4